

〔摘要〕

海	見島灣
川	東大川 西大川
鐵道	山陽鐵道
名區	伊部 長船 岡山
產物	備前燒 刀劍

備中國

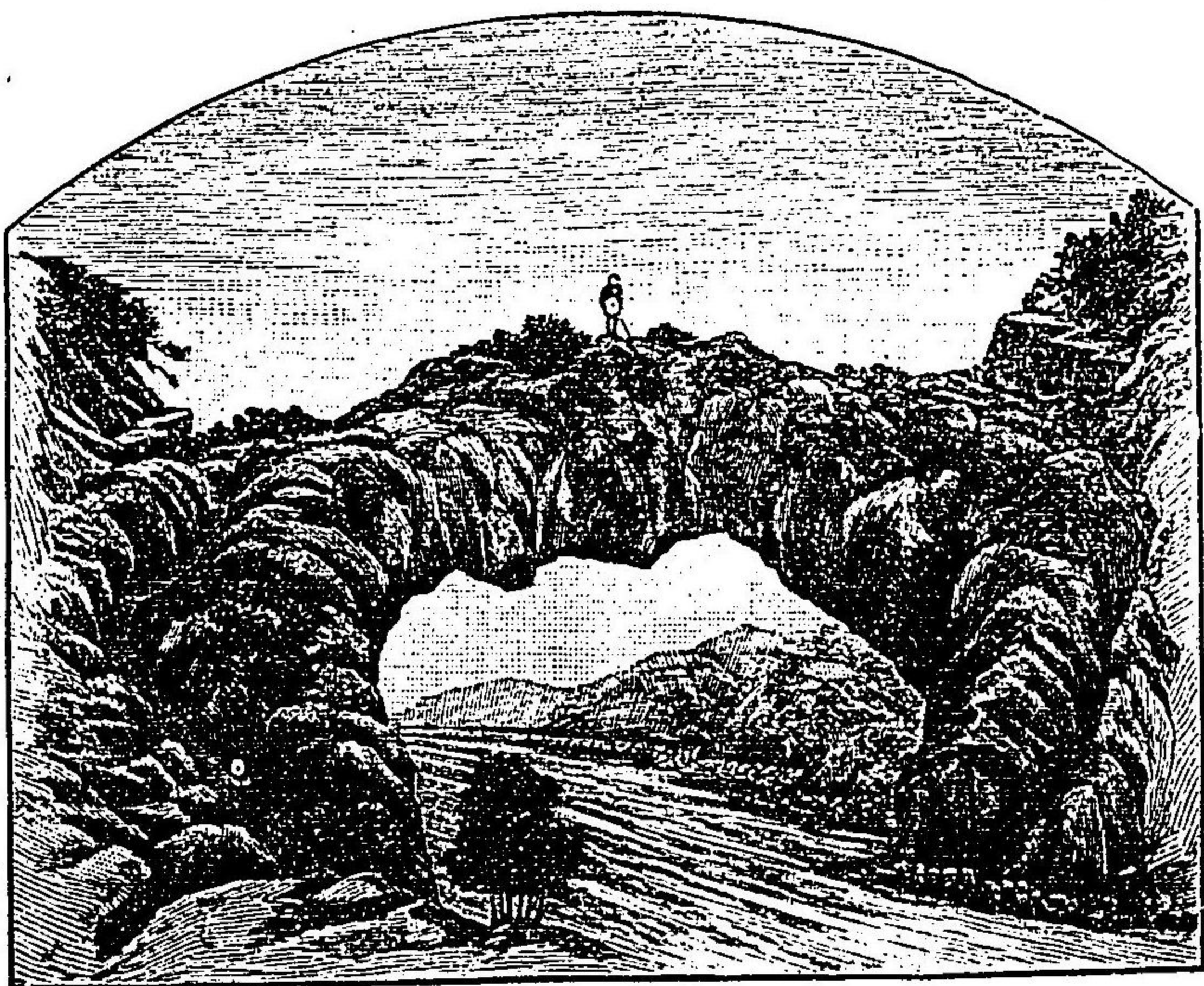
前面ノ海ヲ水島灘ト稱シ、源平ノ頃海戰アリシ處アリ。
鐵道岡山ヨリ來リ海濱ヲ過グ、其ノ線路ナル倉敷ハ當國ノ
名邑ナリ、玉島港ハ中國往來ノ船舶常ニ寄港スル所ナリ。

〔摘要〕

海	水島灘
鐵道	山陽鐵道
名區	玉島 倉敷

備後國

備後ハ中部ニ御神山
ノ如キ山岳アリテ水理
南北ニ分ル、南ハ例ノ如
ク内海ニ注ギ、北ハ石見
ニ入リテ江川トナル。
御神山ニハ奇岩多ク、其
ノ最モ奇ナルハ鬼橋ニ
シテ、巉巖虹ノ如ク、自然
ニ溪川ノ橋ヲ成ス者ナ
リ、所謂「百丈橫跨、千仞谿」



是ナリ。

山陽鐵道備中ヨリ來リテ海濱ヲ通ル。海濱ノ中央ニ半島狀ノ地アリ、海中ニ突出シ、其ノ端ニ鞆津アリ、古來有名ノ港ニシテ其ノ產物保命酒亦世ニ聞エタリ、爰ヨリ輕便鐵道ノ如キ者不日ニ山陽鐵道ニ連絡スベシ。斯クテ鐵道ハ食鹽ニ著名ナル尾道ヲ過ギテ遂ニ安藝ニ入ル。夫ノ有名ナル備後表ハ昔福島正則ガ獎勵シテ開キシ所ニテ、鞆尾道近傍ニ産ゼシガ、今ハ三備地方皆之ヲ産ゼリ。

〔摘要〕

山 御神山

鐵道 山陽鐵道

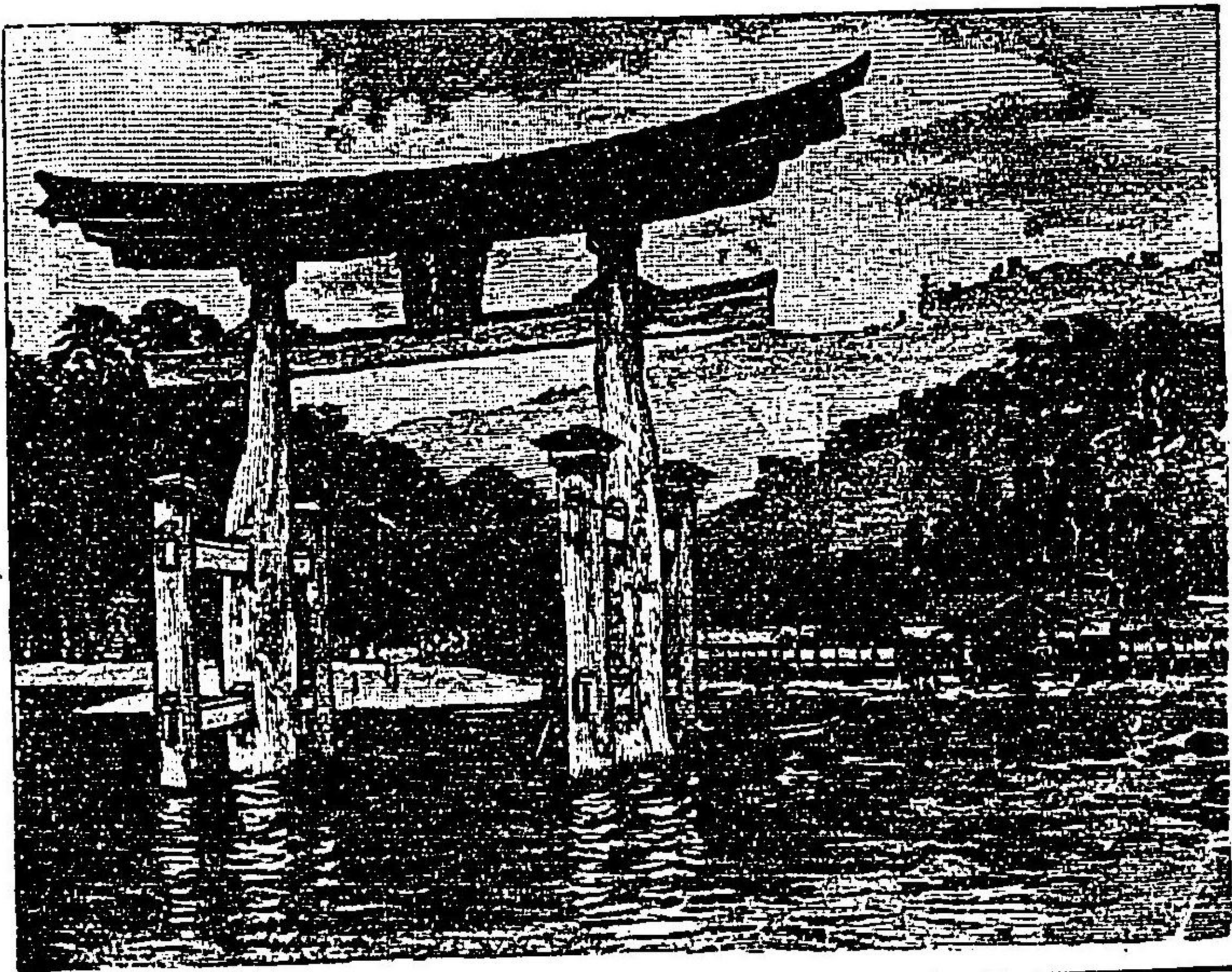
名區 鞆 尾道

產物 鹽 備後表

廣島

安藝國

安藝モ亦北隅一部ノ水、江川ニ入り、其ノ餘ハ皆内海ニ注グ。前ナル宮海灣ヲ廣島灣ト云ヒ灣口ニ倉橋島、能美島、江田島アリ。山陽鐵道備後ヨリ來リテ廣島ニ至レリ。廣島ハ全道第一ノ大市ニシテ、征清ノ役ニハ爰ニ大本營ヲ置カレ、



大元帥陛下ノ風ニ櫛リ、雨ニ沐シ給ヒシ所ナリ。廣島縣廳、同師團等此ニアリ、其ノ海ニ生ズル牡蠣甚ダ名高シ。

宮島
鐵道廣島ヨリ支線ヲ出シテ宇品港ニ至ル。宇品ハ灣ノ奥ニ位セル良港ニシテ、征清ノ軍人ハ多ク此ヨリ乗船セリ。灣ノ東頭突角ノ邊ニ吳軍港アリ、此ニ鎮守府アリテ近海并ニ四國ノ外海ヲ鎮セリ。灣内多クノ島嶼ヲ抱キ、其ノ中ノ嚴島ハ宮島トモ云ヒテ、實ニ日本三景ノ一ナリ、島上ノ嚴島神社ハ結構莊嚴ヲ極メ、潮來ルトキハ宮殿海中ニ浮ブガ如ク、廻廊ノ華燈波ニ映ジテ、恰モ仙宮ニ遊ブノ想ヒアリ。鐵道本線ハ廣島ヨリ周防ニ入ル。

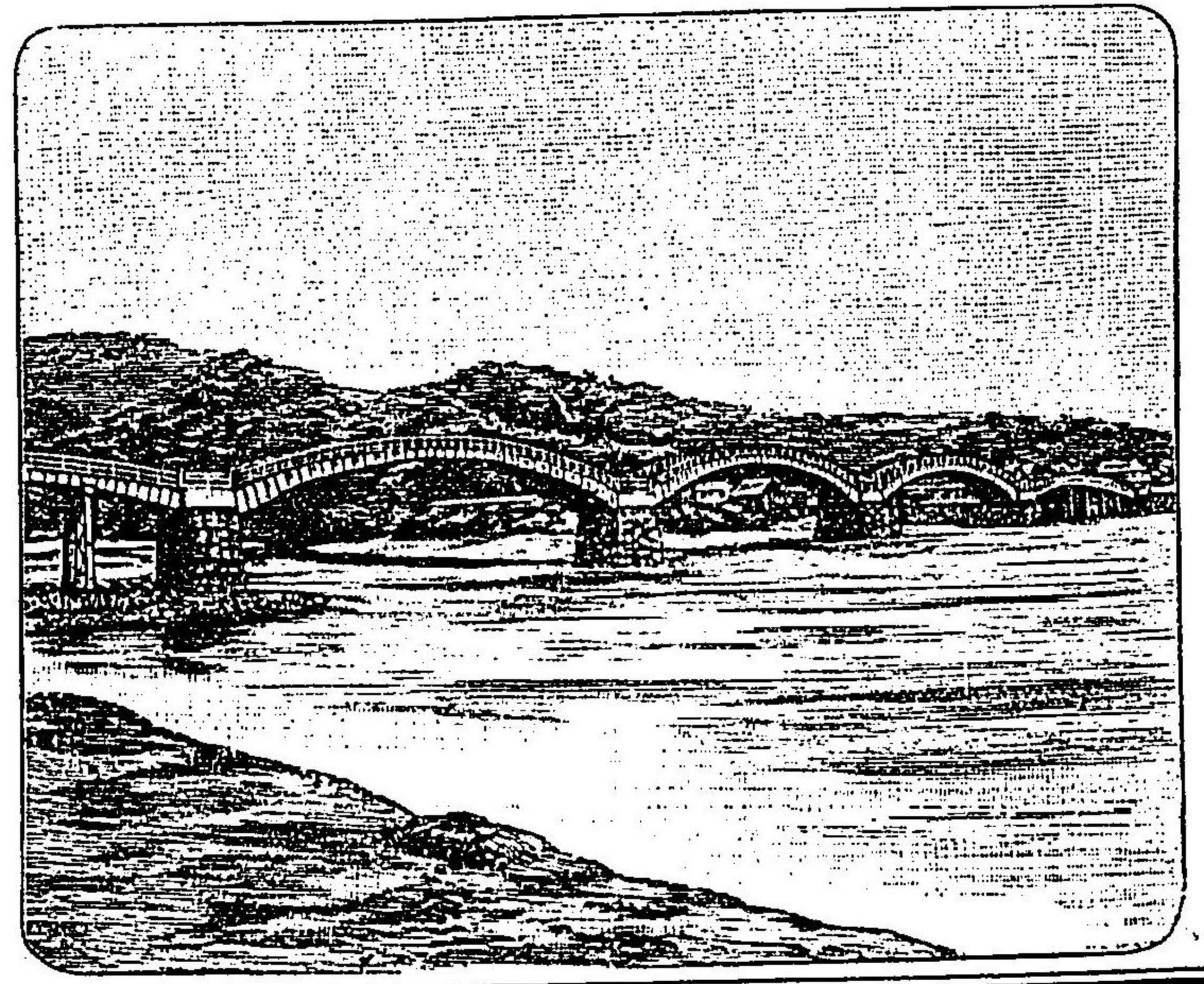
〔摘要〕

海 廣島灣
鐵道 山陽鐵道 廣島宇品間

名區 廣島 宇品
吳 宮島
產物 牡蠣

周防國

周防ノ前ナル海ヲ周防灘ト云フ。山陽街道周防ニ入レバ岩國アリ。岩國ハ岩國川ニ臨ミ、之ニ架セル錦帶橋ノ美觀ハ天下ニ有名ナリ。岩國半紙、岩國縮木綿縮亦



三田尻
山口

名高シ。鐵道ハ現ニ德山ニ達シ、不日將ニ本州ノ西端ニ至
ラントス。西部ノ海岸ニ於テ、街道ヲ距ルユト遠カラヌ處
ニ三田尻アリ、製鹽ノ名赤穂ニ亞グ。此ノ附近ヨリ山口ニ
別ルル一道アリ。山口ハ國境ノ山脈ヲ負ヒ、古ヘヨリ要害
無雙ト稱シ、維新前長州ノ内亂及ビ長州征伐ノ軍ニハ此ノ
地常ニ中心タリ、而シテ今ハ山口縣廳ノ所在地ナリ。山陽
街道ハ海岸ニ沿ヒテ長門ニ入ル。

〔摘要〕

海 周防灘

川 岩國川

名區 岩國 德山 三田尻 山口

產物 岩國半紙 岩國縮 鹽

長門國

赤間
關ガ

長門ハ本州ノ末ニシテ、山陽、山陰兩道ノ西端ニ位スル故
地勢、水理半ハ山陽ニ屬シ、半ハ山陰ニ屬セリ。西南端ノ赤
間ガ關ハ昔ヨリ名高キ硯石ヲ產スル處ニテ、下ノ關又ハ馬
關トモ稱シ、山陽鐵道豫定ノ終點ニシテ、早鞆瀬戸ヲ隔テテ
豊前ノ門司ト僅ニ一海里即チ十七町許ヲ隔テ、日清戰爭ノ
末ニ李鴻章ガ來リテ媾和條約ヲ結ビシ所ナリ。此ノ地ハ
大阪、神戸ヨリ九州通ヒ、北海廻リ、及ビ外國行キ等、航路ノ咽
喉ニ當リ、又特別輸出港トシテ石炭等ヲ輸出ス、近傍ニ石炭
坑アルヲ以テナリ。加之朝鮮貿易ニ限リテ許サレタル特
別輸出入港ナレバ、是等ノ船舶往來出入シ港ノ繁昌類ヒナ

壇ノ浦

シ。赤間ガ關ノ東ナル壇ノ浦ハ源平ノ亂ニ平家一門ノ滅亡セシ處ナリ。瀬戸ノ外ヲ響灘ト云ヒ風浪稍荒シ。

〔摘要〕

海 早瀬瀬戸 響灘

名區 赤間ガ關 壇ノ浦

産物 硯石 石炭

山陽道概要 地勢ハ已ニ屢々云ヘルガ如シ。山陽鐵道ハ山陽街道ニ沿ヒテ遠カラズ全通セントス。海岸長ク、良港頗ル多キヲ以テ、水運便ニ、漁獵亦盛ンナリ。氣候ハ一般ニ溫暖ニシテ、且雨少キガ故、已ニ云ヘル如ク、製鹽最モ盛ンニシテ、其ノ産出ハ全國總額ノ半ヲ占ム。地味ハ一般ニ云ヘバ瘠セタル方ナレド、播磨、備前等ハ平野多クシテ、米穀果蔬亦善ク産ス。牧畜ハ頗ル盛ンニシテ、有名ナル中國牛ハ播

磨、備前ノ産甚ダ多シトス。人情ハ一般ニ温順ニシテ、防長人ハ甚ダ伶俐ナリ。

第九章 山陰道

丹波國

丹波ハ山陰道ノ最初ノ國ニシテ、嵐山ヲ界トシテ京都ニ隣セリ。此ノ國ハ全道唯一ノ無海國ニシテ、夫ノ酒顛童子ノ昔話ニテ有名ナル大江山ノ脈ヲ以テ丹後ト界スル形狀、山陽道ノ美作ト備前トノ如シ。國內ノ水理三ツニ分ル。第一、山城ニ接スル方面ノ水ハ保津川トナリ、嵐山ニ近ヅクニ及ビテ、大堰川トナル。二ハ播磨ニ接スル方面ニシテ、其ノ水ハ播磨ノ加古川トナル。三ハ丹後ニ接スル方面ニシテ、其ノ水福知川トナリテ丹後ニ入ル、此ノ川ニ於ケル都會ヲ福知山ト云フ、師團ヲ置カルベキ地ナリ。京都舞鶴

大江山

間ノ鐵道及ビ阪鶴鐵道ハ此ノ地ニ會シテ丹後ニ入ルベキ豫定ナリ。山陰街道ハ福知山ヨリ但馬ニ入ル、丹、但、播三國相接スル邊ハ有名ナル丹波栗ノ最モ多キ所ナリ。

〔摘要〕

山 大江山

川 保津川 福知川

名區 福知山

産物 丹波栗

丹後國

丹後ハ大江山ヲ負ヒテ日本海ニ臨ミ、海岸ハ若狹ニ續キテ青葉山ヲ界トス。丹波ノ福知川ハ此ノ國ニ來リテ由良川ト云ヒ、由良ニ注グ。山陰道中大ナル川ノ一ナリ。由良

天ノ橋立
日本三景

天ノ橋立



ノ東西ニ各々一ノ良港アリ、東
ナルヲ舞鶴ト云ヒ、本州ノ日本
海岸ヲ管スベキ軍港ニシテ、鐵
道小濱及ビ京阪ヨリ來ルベキ
コトハ已ニ云ヘリ。由良ノ西
ナル港ヲ宮津ト云フ、其ノ灣内
ナル天ノ橋立ハ松島、宮島ト共
ニ日本三景ノ一ニシテ一里ノ
沙洲遠ク灣口ニ横タハルコト、
恰モ天然ノ橋ノ如ク無數ノ老
松其ノ上ニ列ナリテ之ガ欄干
ヲ成セリ。丹後縮緬亦宮津附

近ノ地ノ産物ナリ。

〔摘要〕 川 由良川

名區 由良 舞鶴 宮津 天ノ橋立
産物 丹後縮緬

但馬國

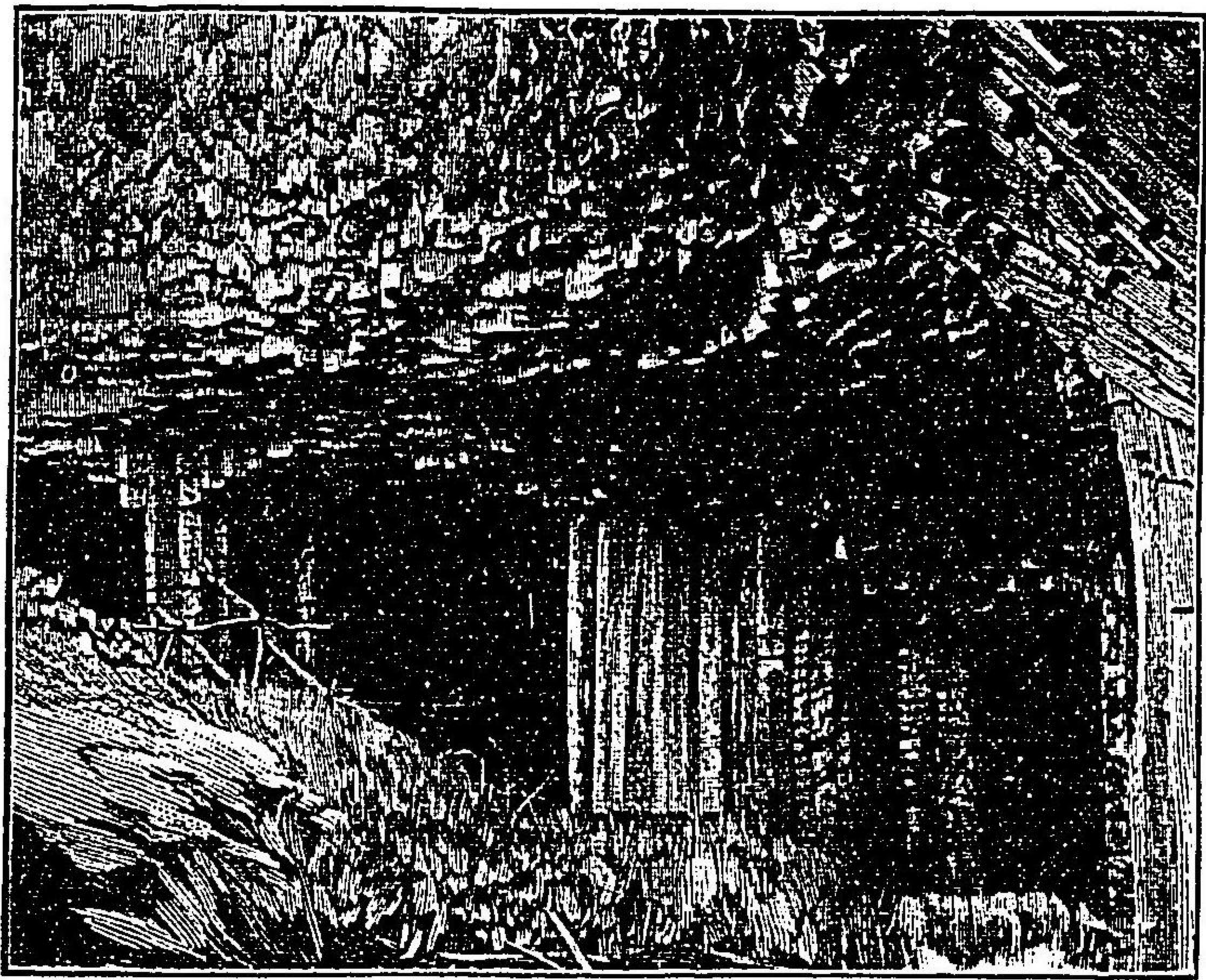
生野

播但鐵道姫路ヨリ來リテ生野ニ至ル。生野ハ播磨境ニ
近キ銀山ニシテ、金銀ノ年額大凡佐渡ニ半ス。此ノ邊ヨリ
發源シテ日本海ニ注グ所ノ朝來川モ、亦山陰道中ノ大川ナ
リ。播但鐵道ハ早晚此ノ川ノ流域ニ沿ヒテ河口ニ達スベ
シ。

山陰街道ハ丹波ヨリ來リ朝來川ノ上流ヲ渡リ、斜ニ國中

ナ過ギテ因幡ノ海岸ニ
 近ヅク。街道朝來川ヲ
 過ギテ後、少許ニシテ八
 鹿アリ、其ノ附近ノ地ニ
 ハ牧牛盛ンナリ。朝來
 川ノ稍下流ノ流域ニ出
 石、豊岡アリ、出石ハ著明
 ナル陶器出石焼ヲ出ス。
 豊岡ヨリ下流ニ沿ヒテ
 城崎温泉ニ行ク途中ニ
 有名ナル玄武洞アリ、洞
 内ノ玄武岩 Basalt ハ黒色

洞 武 玄



火山石
材

柱狀ニシテ無數ノ材木ヲ積累セルガ如シ、皆熔岩ノ固結セ
 ル者ニシテ甚ダ奇觀ナリ。此ノ地方ニ但馬富士（三開山）ノ
 休火山アリ、蓋シ温泉、熔岩等皆相關係スル者ナリ。此ノ火
 山ハ即チ白山火山脈ニシテ大凡中國山脈ニ並行シテ山陰
 道ヲ通過セリ。

熔岩 熔岩ニ種種アリ、其ノ固結ノ時ノ状態ニヨリテ
 浮石ノ如ク氣孔多キ者アリ、(富士帶ノ條ニ擧ゲタリ) 玄
 武岩ノ如ク整正ナル條理アル者アリ、伊豆石ノ如ク大
 ナル條理ナク唯線紋等ヲ顯ス者アリ、氣孔モ條理モナ
 ク玻璃狀ナルコト十勝石ノ如キ者アリ、(十勝國ノ條參
 看) 是等ハ皆通常見ル所ノ火山質石材ナリ。

〔摘要〕

山 生野録山 但馬富士

川	朝來川
鐵道	播但鐵道
名區	八鹿 出石 豐岡 城崎 玄武洞
産物	金 銀 出石燒 牛

因幡國

鳥取

山陰街道但馬ヨリ來リ、鳥取ヲ過ギテ、千代川ヲ渡リ、遂ニ伯耆ニ入ル。鳥取ハ山陰屈指ノ都會ニシテ、此ニ鳥取縣廳アリ。

〔摘要〕

川	千代川
名區	鳥取

伯耆國

中國第一ノ高山

南境ナル中國山脈ノ前ニ峙テル大山ハ白山脈ノ休火山ニシテ直立大凡六千尺、富士ノ高サノ半バニシテ中國第一ノ高山ナリ。其ノ北ニ續ケル船上山ハ後醍醐天皇ノ隱岐ヨリ潛幸アリシ時、名和長年ガ守護シ奉リシ行在ノ所ナリ。山陰街道海岸ニ沿ヒテ西境ニ近ヅケバ米子ノ市街アリ、美作ノ津山街道此ニ會ス。此ノ海岸ニ斗出シタル沙洲ヲ夜見ガ濱ト云ヒ、出雲ノ島根半島ト「人」ノ字ヲ成ス。洲ノ北端ニハ境港アリ、山陰ノ一要港ニシテ隱岐ノ航路ハ多ク爰ヨリス。

〔摘要〕

山	大山 船上山
---	--------

名區 米子 夜見ガ液 境

隱岐國

隱岐ハ日本海中數個ノ島ヨリ成リ、北ナル最大ノ一島ヲ島後ト云ヒ、南ナル一群ノ島ヲ島前ト云フ。島前中ニ大ナル島三ツアリ、西島、中島及ビ知夫里島ト云フ、中島ハ後鳥羽天皇ノ遷幸ノ地、知夫里島ハ後醍醐天皇遷幸ノ地ナリ。隱岐モ火山ノ爲メニ噴起シタル島ニシテ、遙カニ佐渡、能登ニ脈ヲ引キ、地學者ハ之ヲ隱岐火山脈ト云フ。

隱岐火山脈

〔摘要〕

山 隱岐火山脈

島 島前 島後 西島 中島 知夫里島

出雲國

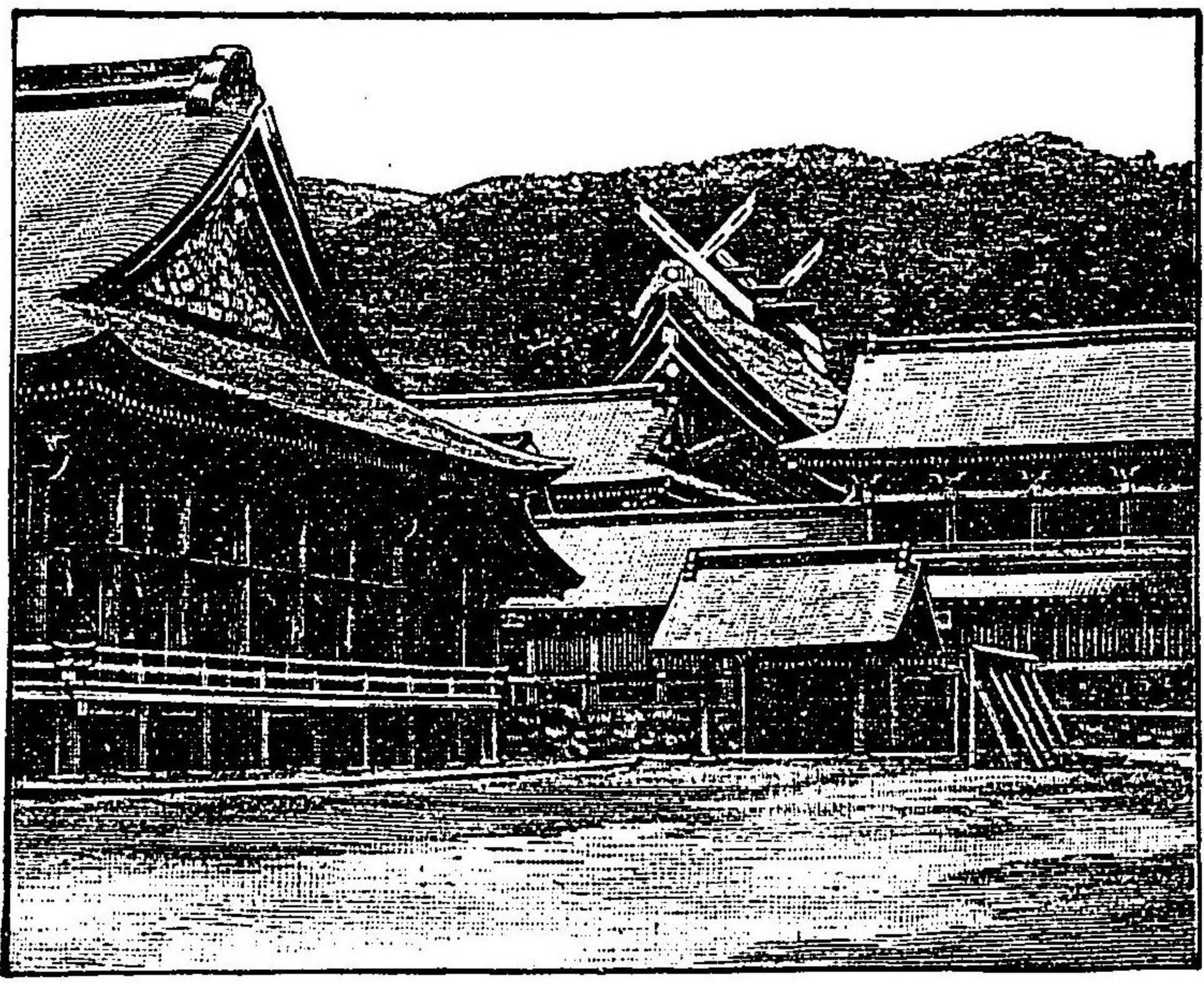
島根半島ト伯耆ノ夜見濱トニテ抱ケル内海ヲ中海ト云フ、風浪穩カニシテ碇泊ニ宜シク、岸上白沙青松ノ景甚ダ好シ、蓋シ出雲ハ木曾山脈ニ亞グ所ノ大花崗石地方ナレバナリ。中海ノ西ニ穴道湖アリ、中國第一ノ大湖ニシテ昔ハ中海ニ續キタリト云フ。湖ノ東岸ニ松江アリ、山陰第一ノ都會ニシテ湖海ノ通運甚ダ宜シク、島根縣廳此ニアリ。湖上ノ風景明媚ニシテ、其ノ鱸ノ佳味支那ノ松江ニ似タルモ、奇遇ト云フベシ。湖中ニ注グ簸川一名大川ノ水源ナル船通山ハ古ヘハ簸川上ト云ヒ、古傳ヲ按ズルニ素戔嗚尊ガ八岐大蛇ヲ斬リテ寶劍ヲ得給ヒシ所ナリ。

大花崗石地方
松江

杵築

サテ山陰街道ハ伯耆ヨリ來リテ松江ヲ過ギ、宍道湖ノ岸ニ沿ヒ杵築ノ南ヲ過ギテ石見ニ入ル。杵築ノ大社ハ上古山陰道ヲ經營シテ吾ガ皇室ニ讓リ給ヒシ大國主命ヲ祀レル宮殿ナリ。出雲牛ハ昔ヨリ世ニ名アリ。雲州蜜柑ハ世人或ハ此ノ國ノ特産ト思ヘレド、實ハ支那ノ温州

社大ノ築杵



種ト云フコトナリ。

〔摘要〕

山	船通山
海	中海
川	簸川
湖	宍道湖
名區	松江 杵築
産物	出雲牛

石見國

石見國ハ歌聖柿本人麻呂ノ本國ナリ。備後ヨリ來レル江川即チ石見川ハ中國第一ノ大河ニシテ水源ヨリ七十餘里アリ、而モ舟運ハ其ノ半ニ至ラズ。山陰街道來リテ此ノ川ヲ渡リ濱田港ヲ過グ、濱田ハ有名ナル石見半紙ノ市場ナ

リ。斯クテ街道ハ漸ク海邊ヲ離レ、長門境ニ近キ津和野ヲ過ギ、長門ノ一隅ヲ通り抜ケテ山陽道ナル周防ノ山口ニ會ス。津和野附近ノ山中ニ銀山アリ、有名ナル石見銀山鼠取藥ハ粗製ノ砒石ナリ。

〔摘要〕

山 石見銀山

川 江川

名區 濱田 津和野

産物 石見半紙 銀 鼠取藥

山陰道概要 一般ノ地勢ハ前ニ已ニ云ヘル如ク山陽ト共ニ極メテ單一ナリ、唯山陽ニ比スレバ白山、隱岐ノ兩火山脈アルヲ異ナリトス。海岸ハ丹後、出雲ヲ除クノ外ハ屈曲少ク、良港ナシ、是日本海海岸ノ通例ナリ。氣候ハ山陽ニ比ス

日本海岸

養蜂地方

レバ、劃然トシテ寒冷ナルハ主トシテ其ノ北受ケナルガ爲メナラン。雨量ハ北陸道ニ比シテ稍少キハ山脈ノ方向大凡南北ニ走リテ夫ノ西北風ヲ正面ニ受ケザルガ爲メナルベシ。地味ハ山陽ニ比スレバ更ニ瘠セタリ。産物ノ一般ナルハ牧牛ト養蜂トニシテ、蜂蜜各地ニ産ス。礦物ニハ生野、石見ノ銀山アリ、鐵山ハ雲石、鑿備ト稱シ、特ニ石見及ビ備後ト出雲ト接スル所ノ山脈ニ多シ、此ノ地方ノ産額ハ現今全國一ノ多量ナリ。海岸多キ故ニ各國多少ノ漁業アレド、風浪荒キガ爲メニ比較的收得少シ。人情ハ山陽ト同ジク温順ナレド、交通極メテ狭キガ故カ稍狹固ニ近キ者アリ。然レドモ播但鐵道、阪鶴鐵道ヲ始メ、横斷線ノ着手セラレ、計畫セラレタル者已ニ多シ、况ヤ他日鐵道ノ山陰ヲ縦貫スル

者アルニ至ラバ、諸般ノ風光面目ヲ改ムル應ニ遠キニ非ザルベシ。

第十章 南海道

紀伊國

紀伊ハ南海道ノ本州ニ於ケル唯一ツノ國ナリ。其ノ形大凡羅馬數字ノVノ字ニ似テ、西半廣ク、東半狹ク、内面ニハ大和ノ南部ヲ擁シ、西ノ端ハ河内、和泉ニ接シ、東ノ端ハ伊勢ニ接シ、其ノ國境ハ皆山岳ナリ。外面ハ一帯ニ海ヲ受ケ、中央ノ突角ヲ潮岬ト云ヒ、其ノ名ノ如ク黒潮之ニ激シテ波濤險惡ナリ。岬ヨリ西ノ海ヲ紀州灘ト云ヒ、東ヲ熊野沖ト云フ。和泉ニ接スル突角ハ加太岬ト云ヒ、淡路國ト紀淡海峽ヲ夾ミ、軍事上要害ノ地ナリ。海峽中ニ友ガ島アリテ紀伊ニ屬セリ。

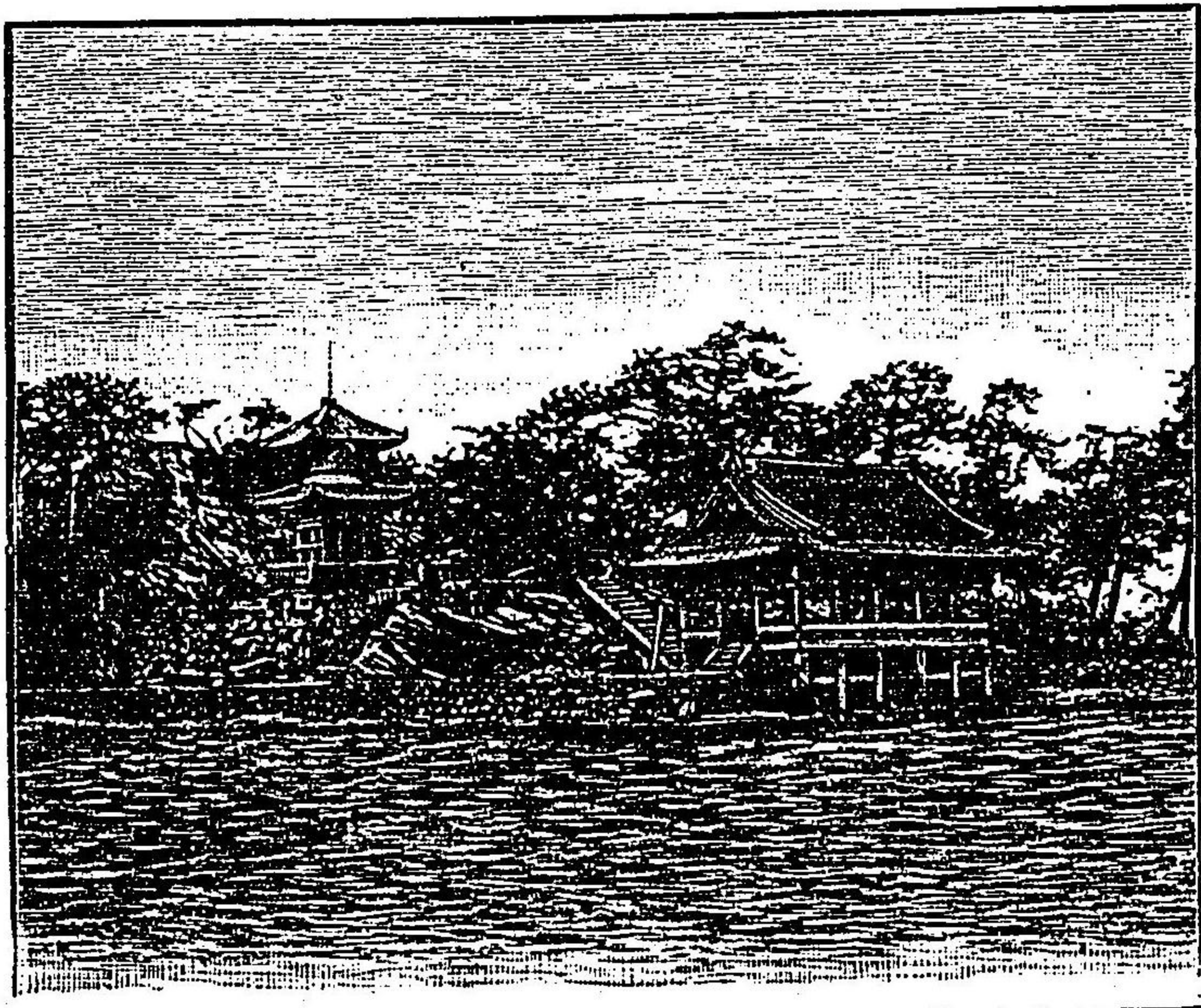
和歌山

已ニ云ヘル如ク紀泉鐵道ハ不日ニ堺ヨリ來リテ和歌山ニ達セントス。和歌山縣廳ノ所在ナル和歌山ハ元徳川三家ノ一ナリシ紀伊大納言家ノ城地ニシテ紀ノ川ノ河口ニアリ。紀州ねるハ此ノ地ヨリ出ヅ。紀ノ川ハ即チ大和ノ吉野川ニシテ之ニ沿ヘル五條ト和歌山間ノ豫定鐵道亦遠カラズ通セントス。此ノ河流附近ノ著シキ者ヲ舉ゲンニ、大和境ニ於テ左岸遙カニ峙テル高野山ハ有名ノ靈山ニシテ弘法大師開基ノ金剛峯寺アリ、杉、高野槇等ノ大木森森トシテ、斯ノ山ノ尊嚴ヲ添ヘタリ。總ベテ紀州ハ多ク木材ヲ出シ、木曾ニ亞ギタル山林國ナリ。高野ノ氷豆腐亦有名ニシテ、已ニ高野豆腐ナル普通名詞ヲ成セリ。下リテ右岸ナル粉川ノ粉川寺ハ順禮ノ札所ナリ、此ノ地ノ酢ハ清冽ヲ以

高野山

テ名高シ。和泉境ニ接セル根來ノ根來寺及ビ根來塗皆有名ナリ。和歌山ニ至レバ其ノ南方ノ海濱ヲ和歌ノ浦ト云ヒ、風光明媚、氣候溫和ニシテ、古ヘヨリ歌人遊人ノ賞揚スル所ナリ。

和歌山ヨリ海ニ沿ヒテ南ニ進メバ黒江港ニ至ル、即チ黒江椀ノ産地ナリ。總ジテ和歌山縣



ノ漆器全國第一ノ多額ナルハ、蓋シ當國ノ木材ト吉野漆ノ自由ナルトニ由ルナラン。有田川ハ紀ノ川ニ並行シテ海ニ入ル、其ノ兩岸ハ有名ナル紀州蜜柑ノ產地ナリ。更ニ南ニ進メバ田邊タナベナル小都會アリ。此ノ邊ヨリ東ナ一帶ニ熊野地方ト稱ス、大和ノ十津川此ニ來リテ熊野川トナリ、熊野沖ニ注グ。熊野沖ハ鯨漁ニ名アリ。熊野山中ヨリハ材木及ビ最良ナル鍛冶炭熊野備長ビシヤクト云フヲ出ス。熊野川ノ右岸ニ本宮、那智及ビ新宮アリ、各々著名ナル大社アリ、之ヲ熊野三社ト稱ス。本宮ノ溫泉ハ古ヘヨリ有名ナリ、又那智山ニハ那智ノ瀧アリ、高サ八十四丈、本邦第一ノ大瀧ニシテ熊野沖ヲ過グル者舟中ヨリ之ヲ望ムベシ。然レドモ近ヅキテ眺ムルトキハ、其ノ優美ナル形狀恰モ美人ノ羅

那智山

衣ヲ着テ立テルガ如シト昔ノ文人ハ云ヘリ。新宮ハ沿岸ノ驛路ニ當レリ、是ヨリ更ニ東北ニ行ケバ遂ニ伊勢ニ入ル、然レドモ山路險惡ニシテ陸行ノ人稀ナリ。總ジテ紀州ハ山地多ク、唯紀ノ川ノ流域ニ稍廣キ平地アルノミ。

〔摘要〕

山	高野山	那智山				
海	紀州灘	熊野沖				
川	紀ノ川	有田川	熊野川			
名區	和歌山	和歌ノ浦	粉川	根來	黑江	田邊
本宮	那智	新宮				
產物	木材	高野豆腐	酢	根來塗	紀州ねる	熊野備長
	黑江梳	鯨				

淡路國

淡路ハ大畧細長キ三角形ヲ成シタル島國ナリ。頂點即チ北端ハ明石海峽ヲ隔テテ攝播ニ對ス、此ニ漁村岩屋アルガ故ニ、亦岩屋ノ瀬戸ト云フ。底邊ノ東角ハ紀淡海峽ヲ隔テテ紀州ノ加太岬ニ對ス、此ニ由良アリテ砲臺ヲ設ケラル。紀淡海峽内ノ友ガ島ト由良ノ間チ由良海峽ト云ヒ、(歌詞ニハ「由良の門」ト云フ)又友ガ島ト紀州ノ間チ友ガ島海峽ト云ヒ、二ツヲ合ハセテ紀淡海峽トハ云フナリ。又底邊ノ西角ハ鳴門海峽ヲ隔テテ阿波ニ對ス。所謂阿波ノ鳴門ハ有名ナル難處ニシテ、潮流相激シテ渦卷ヲ成シ、其ノ聲囂囂トシテ虎豹ノ吼ユルカト疑ハシム、是ヲ以テ此ノ名アリ。然レ

紀淡海峽
鳴門海峽

ドモ其ノ潮流荒キガ爲メニ魚類ノ味甚ダ佳ク、鳴門鯛ノ名近畿ニ噪ゲリ。鳴門ニ近ク福良ノ港アリ、此ノ邊ハ陶器淡路燒ノ產地ナリ。

山脈ハ南北ニ縱貫スル者ト底邊ニ沿ヒテ横貫スル者トアリ。岩屋ヨリ由良マデノ沿岸中ニアル洲本港ハ當國一ノ名邑ニシテ、本州交通ノ中心ナリ。

〔摘要〕

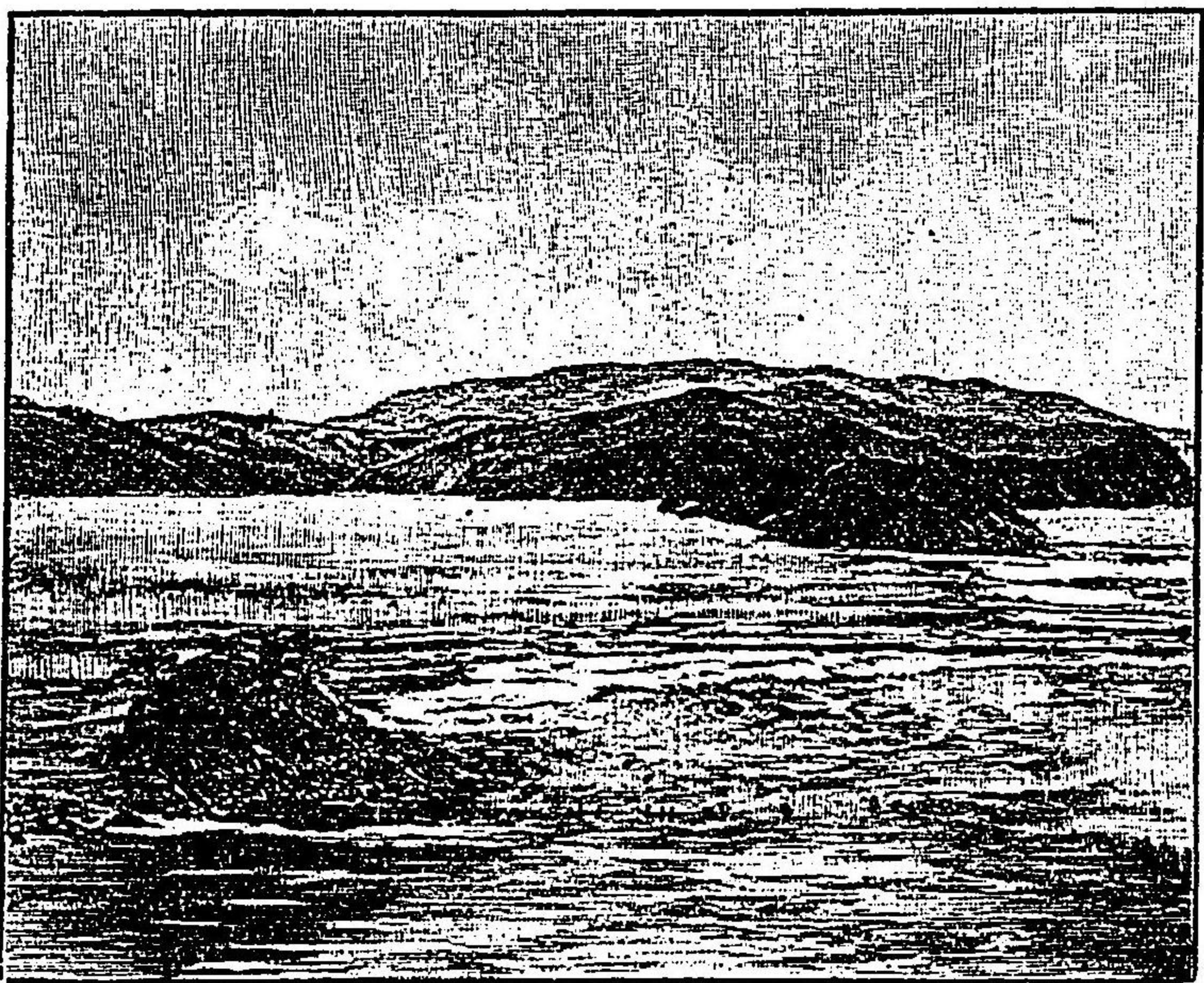
海 岩屋瀬戸 紀淡海峽 由良海峽 友ガ島海峽 鳴門海峽
名區 岩屋 由良 福良 洲本
産物 淡路燒

阿波國

人ハ謂フ四國ハ蝙蝠ノ羽ヲ張リタル形ナリト、而シテ阿

四國山脈

波ハ其ノ東翼ノ中部ヲ
占メタリ。阿波ハ西方
ヨリ來レル四國山脈ノ
二分岐ニヨリテ擁セラ
レ、東西獨リ海ニ臨メリ。
此ノ四國山脈ト稱セラ
ルハ恰モ中國ニ於ケ
ル中國山脈ノ如ク、中央門
分水界ヲナシ、其ノ分岐
ノ北ナル者ハ阿波ノ北
境ヲナシテ鳴門海峽ニ
没シ、再ビ現レテ淡路ノ



本邦第一ノ藍產地
藍下阿波絨
德島

南岸ヲ過ギ、更ニ紀淡海峽ニ没シ、三タビ現レテ紀泉山脈ト
ナレリ。分岐ノ南ナルハ南境ヲ成ス者ノ外、更ニ祖谷山イハヤノ
脈アリ、祖谷山ハ平家ノ落人ノ隱處ト云ヒ傳ヘラル。是等
ノ山脈ハ海ヲ渡リテ紀州ニ入り、大和ノ吉野諸山トナリ、伊
勢、志摩ヲ過ギテ又海ヲ渡リ、三河、遠江ニ現レテ赤石山脈ト
ナル。
祖谷山ノ脈ト北境トニヨリテ界セラレタル北部ノ水ハ
集リテ吉野川トナリ、東ニ流レテ海ニ入ル、大和ノ吉野川ト
同名ニシテ、彼ハ日本第一ノ櫻ノ名所ナリ、是ハ日本第一ノ
藍ノ產地ニシテ、兩岸ノ地培養製造甚ダ盛ンナリ。阿波絨アハ
ノ此ノ流域ニ有名ナルモ、一ハ藍ノ原品ノ便ナルニヨリテ
ナリ。河口ニ德島アリテ德島縣廳亦此ニアリ。其ノ左右

ニ通ズル街道ハ四國沿岸チ一周スル道ニシテ、重ナル都會ハ皆此ノ線ニアリ。德島ノ北、瀬戸内海岸ニ齋田アリ、製鹽ノ盛ナルコト赤穂ニ亞グ。

〔摘要〕

山 四國山脈 祖谷山

川 吉野川

名區 德島 齋田

産物 藍 阿波織 鹽

讃岐國

高松 讃岐ハ後面四圍山脈ニヨリテ阿波ト界シ、前面瀬戸内海ニ臨メリ。高松ハ大阪ヨリ瀬戸内海航路ノ一要津ニシテ香川縣廳此ニアリ、其ノ公園ハ幽邃廣大ニシテ、或ハ日本三

琴平

公園ヲ稱スルニ水戸ノ代リニ之ヲ數フル者アリ。高松ノ東西ニ兩突角アリ、東ノ突角ニハ五劍山^{ゴケンザン}アリ、其ノ麓ナル屋島ハ源平ノ古戰場ナリ、西ノ突角ニハ白峯^{ハクホウ}アリ、崇徳天皇ノ御陵此ノ山ニアリ。高松ヨリ沿岸ノ街道東西ニ通ズ、東ノ方阿波ニ近ク引田^{ヒキダ}アリ、砂糖ノ産出ニ名アリ、元來此ノ國ハ本邦製糖ノ事業ニ力ヲ用ヒタル平賀源内ノ本國ニシテ全國製糖盛ンナレド、殊ニ引田ヲ著シトス。高松ヨリ西ハ讃岐鐵道已ニ敷設セラレテ丸龜及ビ多度津ニ至レリ。丸龜ハ師團ノ設ケラルベキ地ナリ。多度津ハ四國ノ最良港ニシテ船舶ノ出入繁昌セリ。多度津ノ南ナル琴平ハ象頭山ノ琴平神社ノアル所ニシテ、參詣ノ多キコト伊勢ノ兩宮ニ亞ギ、多度津ヨリ鐵道ヲ布設セリ。象頭山、五劍山等ハ何レ

モ休火山ニシテ九州ヨリ連續セル阿蘇火山脈(九州ノ條ニ委シクスベシ)ナリ。

〔摘要〕

山 五劍山 白峯 阿蘇火山脈

鐵道 讚岐鐵道

名區 高松 屋島 引田 丸龜 多度津 琴平

産物 砂糖

伊豫國

四國第一ノ高山

伊豫ハ讚岐ノ西ニ並ビテ、四國山脈ヲ負ヒ、瀬戸内海ニ臨ム。四國山脈ノ石鎚山ハ土佐境ニ峙チテ直立六千五百尺、富士ノ半ヨリ稍高ク、四國第一ノ高山ナリ。東ノ方山脈ノ阿波ニ分岐セントスル邊ニ別子銅山アリ、産額ノ多キコト

松山

足尾ニ亞ギ、本邦第二ト稱ス。又市ノ川鑛山ニ安質母尼ヲ産シ、世ニ之ヲ『伊豫白蠟』ト稱ス。

松山ハ愛媛縣廳ノアル所ニシテ、三津ガ濱ヨリ鐵道アリ、海陸ニ相通ズ。松山ニテ製スル伊豫索麵ハ其ノ織麗ナルコト恰モ五色ノ糸ノ如シ。松山ニ近ク道後ノ温泉アリ、蓋シ阿蘇火山脈ノ影響ナルベシ、此ノ地古來繁昌シテ以テ今ニ至リ、近頃又鐵道ヲ以テ松山ト通ズ。其ノ他ニ松山附近ノ小都會互ニ相通ズル鐵道アリ。有名ナル伊豫簾ハ松山ヨリ土佐境ノ方ニ寄りタル山地ニ産出ス。西隅ニ細長キ手ノ形シタル半島アリ、恰モ人ノ指ヲ以テ九州ヲ指スガ如シ、其ノ端ヲ佐田岬ト云フ。此ノ海峽水勢強クシテ魚類多ク且美味ナリ。

〔摘要〕

山	石鏡山	別子銅山
鐵道	三津ガ濱、松山、道後間等	
名區	松山	三津ガ濱
産物	銅	索麵
		伊豫白蠟
		伊豫籬
		道後
		宇和嶋

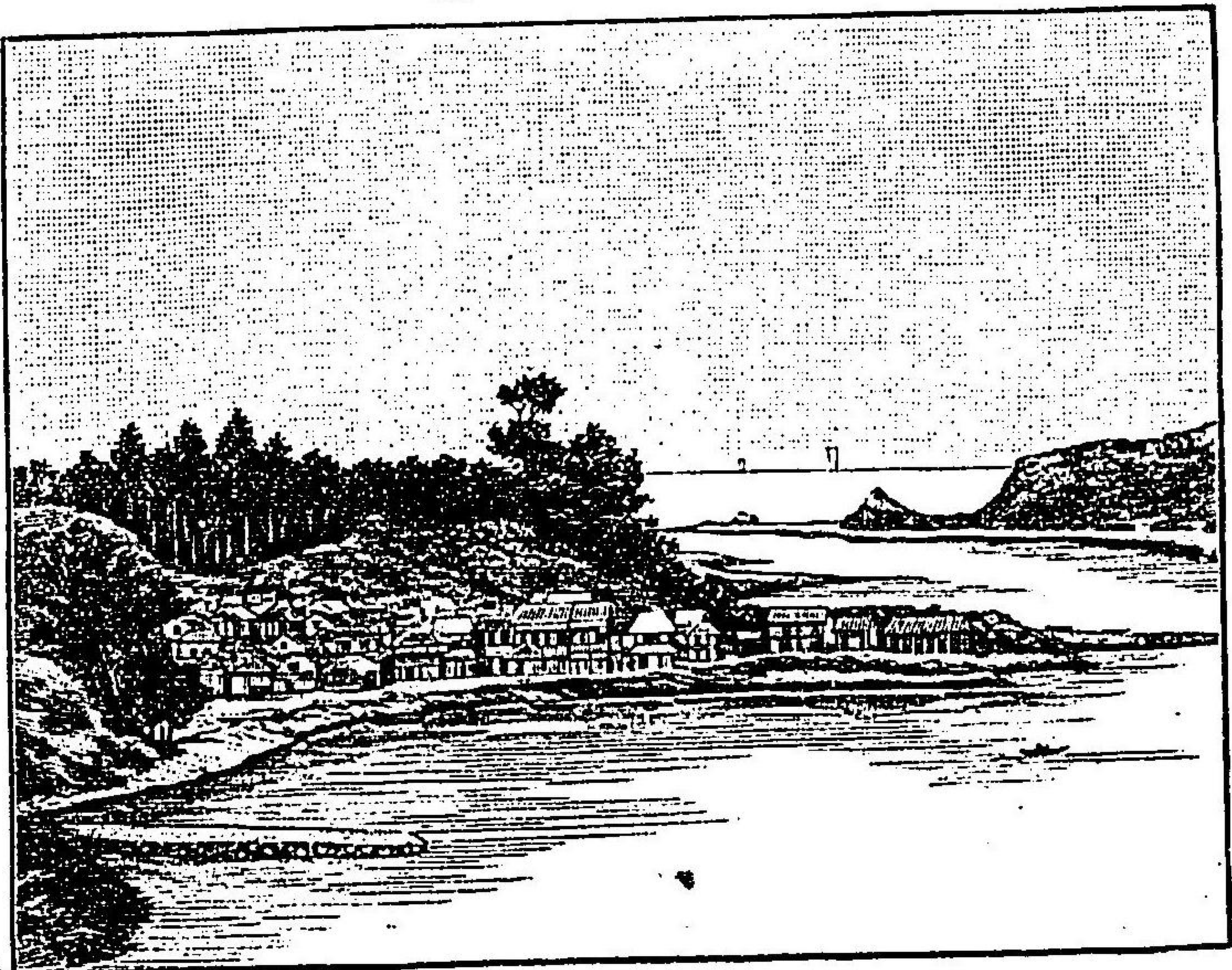
土佐國

土佐ハ四國山脈以南ノ海岸一帯ヲ占メタル大國ニシテ、前ナル海ヲ土佐沖ト稱ス。四國山脈ノ爲メニ諸方ノ道路、險惡ヲ極メ、海岸ハ良港ナクシテ風浪荒ク、颶風亦時ニ至リ、交通頗ル不便ナリ。

高知ハ山ヲ負ヒ入江ニ臨ミ、風景佳キ地ニシテ高知縣廳此ニアリ。此ノ入江ハ蓋シ野中兼山ガ江戸土産ノ蜷一艘

高知

ヲ投ゼシヨリ始メテ此ノ貝ヲ生ゼシ所ナリ。高知ヨリ西南ナル須崎港ハ商業ノ繁昌高知ニ亞ギ、殊ニ有名ナル土佐半紙ハ此ノ高周圍ニ製造セラレ、半紙ノ名ヲ須崎及ビ高岡(鄰郡ノ名)ト稱シテ賣買ス。國ノ知極西ナル幡多郡ハ軍書ニ土佐ノ「畑」ナド書キ、今猶極メテ僻地ニシテ、土佐一般ニ瘠地ナル中ニ就キテ最



モ瘠地ナレド、海濱ノ風景絶佳ニシテ漁業甚ダ盛ンニ、有名ナル土佐節、土佐珊瑚、土佐駒ハ多ク此ノ地ヨリ出ヅ、殊ニ土佐節ハ天下第一ト稱セラル。

〔摘要〕

海 土佐沖

名區 高知

産物 土佐駒 土佐半紙 土佐珊瑚 土佐節

南海道概要 南海道ハ四國ト淡路ト本州ノ紀伊トヨリ成リ、其ノ山脈ハ四國ヨリ本州ニ連亘スルコト上ニ云ヘルガ如シ。四國山脈ハ四國ニ於テ南北ノ分水界タルコト、大凡中國ニ於ケル中國山脈ノ如シ。其ノ最高峯石槌山ハ中國ノ最高峯大山ト殆ド相等シクシテ稍高シ。阿蘇火山脈ガ四國山脈ノ北ニ並行スルハ、恰モ中國ノ白山火山脈ニ比ス

ベシ。四國山脈ガ太平洋ノ風ヲ受ケテ雨ヲ結バシメ、隨テ内海岸ヲシテ雨少カラシムルコト、亦猶中國山脈ノ西北風ニ於ケルガ如シ。故ニ内海岸ニハ齋田ヲ初メ鹽ヲ産スル地多ク、山脈以南即チ土佐ハ本邦中最モ雨多キ地ノ一ナリ。地味ハ内海岸ニ肥沃ナル所アリテ山脈以外ハ一般ニ礫确ナルコト、亦中國ニ似タリ。氣候ハ山陽道ニ比スレバ更ニ溫暖ナルガ故ニ、隨テ暖國性ノ産物多シ、即チ柑橘類、藍、砂糖等ナリ。鐵道ハ和歌山地方ト畿内ト通ズルコト應ニ遠カラザルベク、四國ノ内海岸亦漸ク其ノ端緒ヲ開ケリ。海運モ四國ノ内海岸ト紀伊ノ西海岸トニ多クシテ、其ノ他ハ少シ。人情ハ一般ニ寛柔ト稱スレドモ、其ノ交通頻繁ナル地方ハ皆伶俐ニシテ、土佐ニ至リテハ武健ノ風アリ。

第十一章 西海道

豊前國

山陽鐵道ノ終點ナル馬關ヨリ早鞆海峽ヲ渡レバ、九州ノ北端ナル豊前ノ門司ナリ。

九州山脈
豊前ハ所謂九州山脈ヲ以テ西ノ方筑前ト界シ、其ノ枝脈ニヨリテ南ノ方豊後ト界セリ。ソモ此ノ九州山脈ト云ヘルハ外觀上九州ヲ縦貫シテ脊梁ヲ成シ、其ノ左右ニ出デタル脈ヲ以テ兩側ノ國國ヲ界シ、諸水脊梁ヨリ左右ニ分水シテ海ニ入ルノ狀、殆ド中國ニ同ジ。故ニ各國ノ山勢水理大抵卑一ニシテ、一一之ヲ説クノ要ナキコト亦中國ニ同ジ。西海道地圖參看）然レドモ其ノ所謂九州山脈ナル者ハ一貫

門司

ノ脈ニ非ズシテ、實ハ種種ノ山脈ノ集合ナルコトハ後ニ説ク所アルベシ。

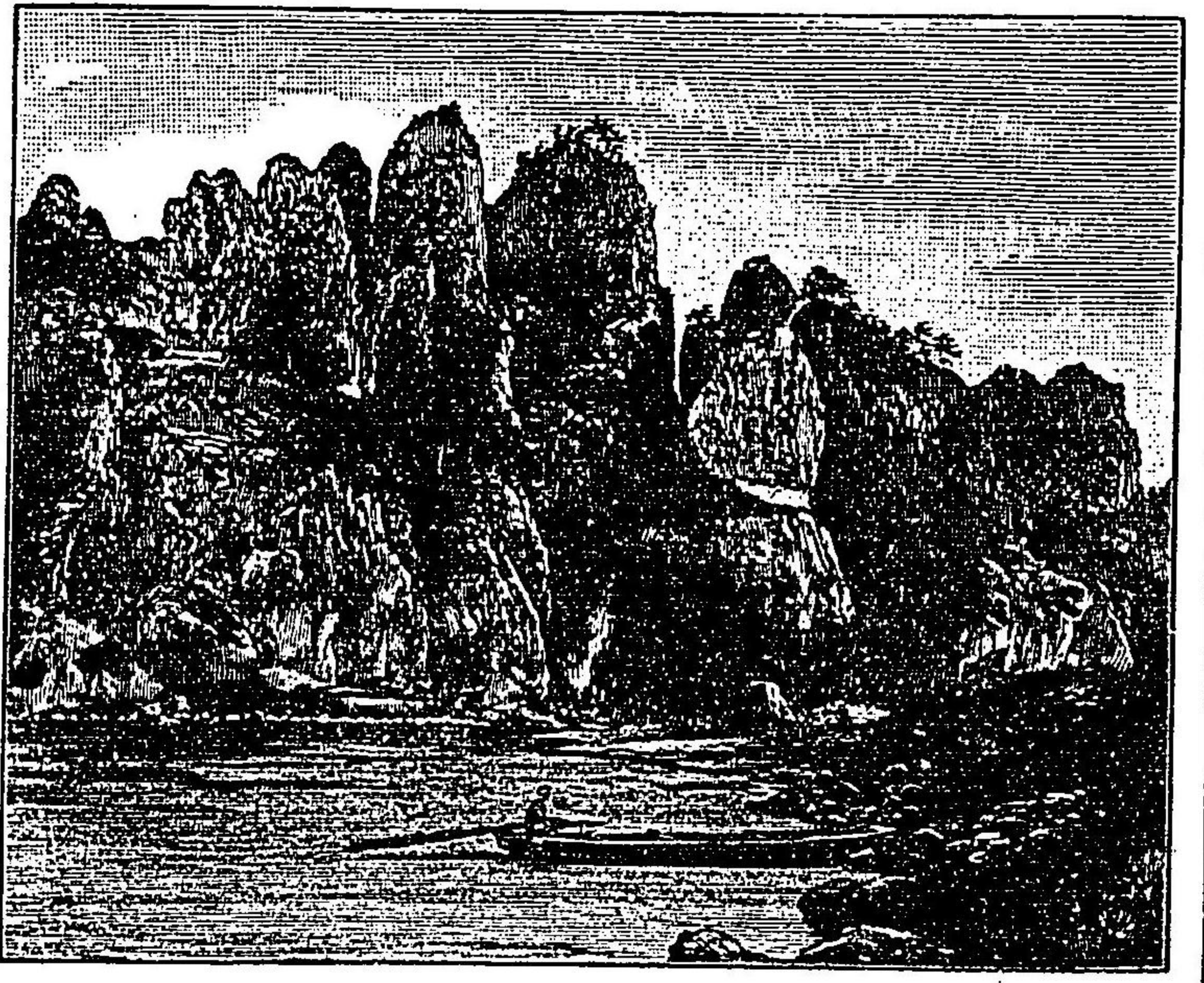
小倉

餘事ハ姑ク措キ、門司ハ九州鐵道ノ起點ニシテ、馬關ト海ヲ隔ツルコト僅ニ一海里、人烟相望メリ、他日山陽鐵道全通ノ日ハ列車ヲ載スル船ヲ以テ此ノ兩鐵道ヲ連絡スベキ計畫アリ。九州鐵道ハ門司ヨリ西ノ方小倉ニ至ル、此ハ小倉織ノ本場ニシテ、西部都督部アリ、又師團ノ設ケラルベキ地ナリ。小倉ヨリ街道左右ニ通ジ、一ハ九州街道即チ九州西岸ノ街道ニシテ、一ハ東岸ノ街道ナリ。而シテ九州鐵道ハ九州街道ニ沿ヒテ筑前ニ入ル。

小倉ヨリ東岸街道ニ沿ヘル鐵道アリ、中途ニ支線ヲ出シ、豊前、筑前ノ炭山地方ヲ遶リテ亦筑前ニ入ル。東岸ノ本線

ハ進行中ニシテ既ニ當國ノ名邑中津ヲ過ギタリ。中津ニ注グ所ノ中津川一名山國川ハ彦山權現ヲ以テ聞エタル彦山ヨリ發シ、其ノ上流ナル山國谷一名耶馬溪ハ「群峯夾水攢竦如春筍矗立」ト賴山陽ハ激賞シテ海内第一ノ奇景トセリ。中津ヨリ更ニ進マバ宇佐ヲ經テ遂ニ豊後ニ入

耶馬溪



ラン。宇佐ノ八幡宮ハ昔和氣清麻呂ガ神勅ヲ請ヒシ所ナリ。我等ハ今暫ク東岸諸國ノ地理ヲ觀テ然ル後九州鐵道ニ沿ヒ西岸諸國ヲ觀察スルヲ便トス。

〔摘要〕

- 山 九州山脈 彦山
- 川 山國川
- 鐵道 九州鐵道 東海岸及ヒ炭山地方鐵道
- 名區 門司 小倉 中津 耶馬溪 宇佐
- 產物 小倉織 石炭

豊後國

豊後ハ國東半島ヲ頭トシテ雀ノ子ガ小サキ羽ヲ廣ゲタル形ニ似タリ。其ノ頭部ヨリ背部ヲ通ジテ山岳起伏シ、水

勢ナ二ツニ分チ、西部ノ水ハ筑後ニ入りテ筑後川トナル。此ノ西部ヲ汎稱シテ日田ノ莊ト云フ。

大分

東岸街道豊後ヨリ來リテ雀ノ咽喉部ヲ通ル、北ニ國東ノ文珠岳アリ、南ニ豊後富士ノ稱アル由布岳アリ、東岸ニ出ヅレバ別府ノ温泉アリテ甚ダ繁昌セリ。別府ヲ過ギテ大分ニ至レバ大分縣廳アリ。街道此ノ邊ヨリ南ニ折レ、暫ク海岸ヲ離レテ日向ニ入ル。然レドモ若シ大分ヨリ更ニ海岸ニ沿ヒテ進マバ東端ナル佐賀ノ關ニ至ルベシ。佐賀ノ關ハ伊豫ノ指頭ナル佐田岬ト相對シ、其ノ間ノ海峽ハ神武天皇東征ノ時舟師ヲ率井テ通過シ給ヒシ速吸門是ナリ。此ノ國ハ一般ニ雜穀多ク、特ニ國東其ノ他ノ大豆良質ナルヲ以テ、舊幕時代ヨリ市場ニ別相場ヲ立テタリ。

〔摘要〕

山	文珠岳	由布岳
海	速吸門	
半島	國東半島	
名區	別府	大分
産物	大豆	日田ノ莊

日向國

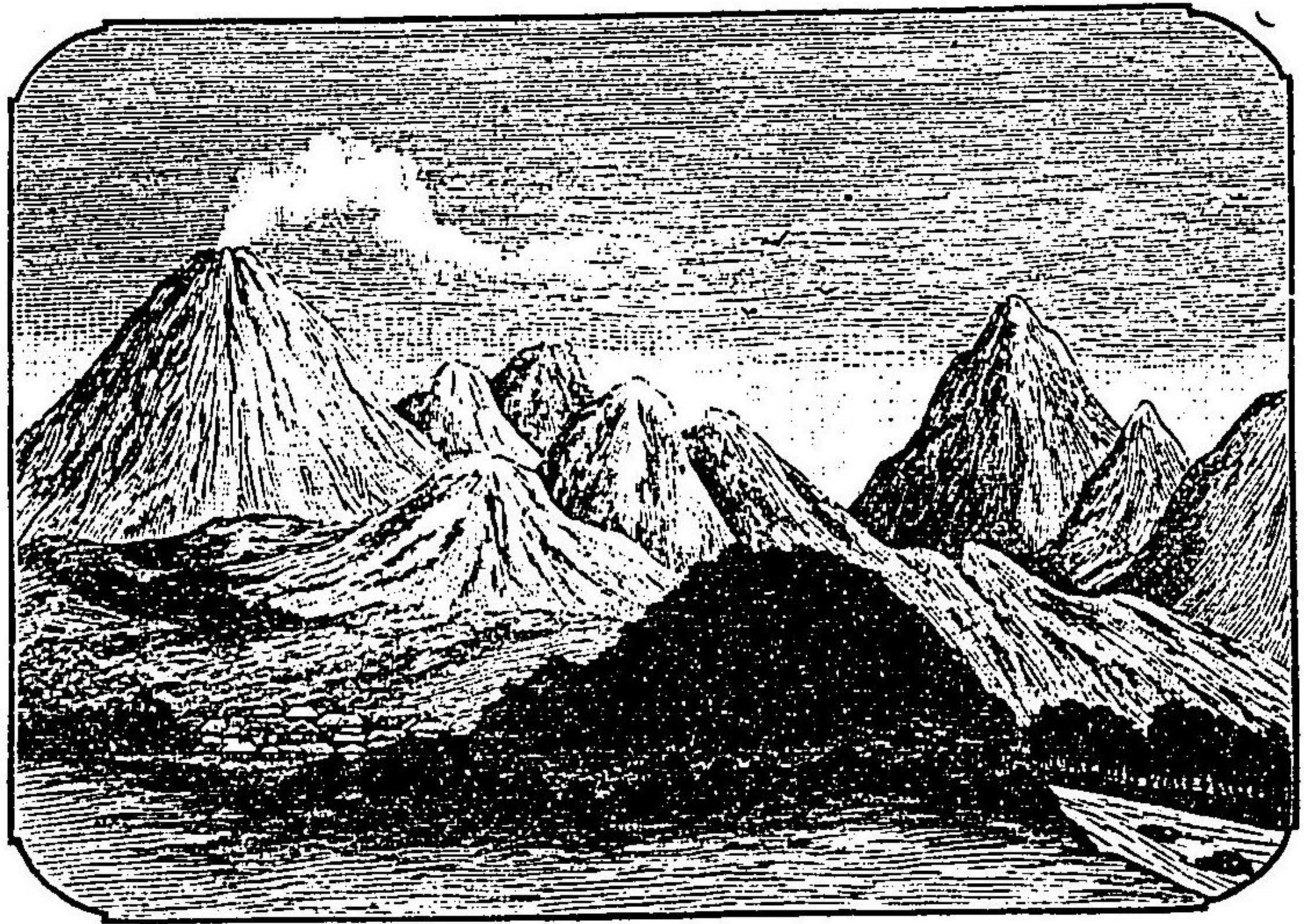
街道日向ニ入りテ又海濱ニ沿フ、前テル海ヲ日向灘ト稱ス。延岡ハ五箇瀨川ノ下流ニアリ、爰ハ西南ノ役ニ西郷隆盛ガ一タビ據リシ所ニシテ、北ニ峙テル可愛岳ハ隆盛ガ圍ミテ脱セシ所ナリ。川ノ上流ニ高千穂村アリ、瓊瓊杵尊ヨリ神武天皇マデ歷世ノ皇居ナリシ高千穂宮ノ地ナリト稱セラルル所ノ一ナリ。五箇瀨川附近ノ山中ニハ關西ニ名

高千穂

宮崎

霧嶋山

山 島 霧



高キ日向炭ヲ出ス。延岡ヨリ海濱ノ諸名邑ヲ經テ宮崎ニ至ル此ハ宮崎縣廳ノアル所ニシテ大淀川ニ跨レリ。街道海濱ヲ離レテ大淀川ノ支流ニ溯レバ、大隅境ニ近キ都城ミコトノロシアリ、是亦高千穂宮ノ跡ナリト云フ。其ノ西北大隅境ニ峙テル霧嶋山ハ東西二座ノ活火山ニシテ、東岳ハ即チ天孫降臨シ給ヒシ『日向ノ

高千穂ノ樾シノ觸シ岳タテ』ナリト云ヒ、絶頂ニ立テル天逆アマノサカサカ鋒カサハ永ク吾ガ神皇ノ武德ヲ表セリ。此クノ如ク日向ハ最モ古キ帝都ノ地ナリト雖モ、山ハ險阻ニシテ、海ニ良港ナク、交通便ナラズ、人烟猶稀疎ナリ。故ニ産物ハ材木、薪炭、椎茸等山林産物ヲ主トシ、就中日向椎茸ハ最モ廣ク諸郡ニ産ス。

〔摘要〕

山 霧嶋山 可愛岳

海 日向灘

川 五箇瀬川 大淀川

名區 延岡 宮崎 都ノ城

産物 日向椎茸 日向炭

筑前國

我等ハ今ヨリ九州街道ニ移リテ西岸ノ諸國ヲ觀察セン。九州鐵道豐前ヨリ來リテ九州街道ニ沿ヒ別ニ豐前ヨリ炭山地方ヲ遶リ來ル所ノ鐵道ト交叉シ後者ハ北端ナル半島中ノ若松港ニ達ス。若松ヨリ南一海里ノ海岸ナル八幡村ハ今正ニ製鐵所設置中ナリ。蓋シ石炭供給ノ便利ハ何人モ認メ得ル所ナルベシ其ノ鐵鑛原料ハ既ニ陸中ノ部ニ云ヘリ。

九州鐵道ハ進ミテ西ニ向フ。香椎ハ仲哀天皇ノ崩御アリシ地ニシテ香椎神廟アリ。箱崎ハ八幡宮及ビ千代ノ松原ヲ以テ有名ナリ。福岡ハ福岡縣廳ノ所在ニシテ博多ト

福岡

市街ヲ連テ博多織ノ本場ナリ。前ニ博多港アリ、古ヘ三韓支那ト往來ノ船ハ皆此ノ港ヨリシ、今モ特別輸出港ノ一ニシテ門司ト共ニ多ク石炭ヲ輸出セリ。更ニ南シテ宰府附近ヲ過グ。宰府ハ古

宰府

太宰府



へ太宰府ヲ置カレシ地ニシテ、菅公ノ薨セラレシ處ナルヲ以テ莊麗ナル菅公ノ社アリ。箱崎、博多ヨリ此ノ邊ニ至ルマデハ元寇ノ古戰場ニシテ、前ハ險惡ナル玄界灘、忽起、西海、颶怒濤殲、胡氣』ノ處ナリ。鐵道ハ更ニ南進シ、肥前ノ東北隅ヲ掠メテ筑後ニ入ル。

〔摘要〕

海 玄界灘

鐵道 九州鐵道 炭山地方鐵道

名區 若松 八幡 香椎 箱崎 福岡 博多 宰府

產物 博多織

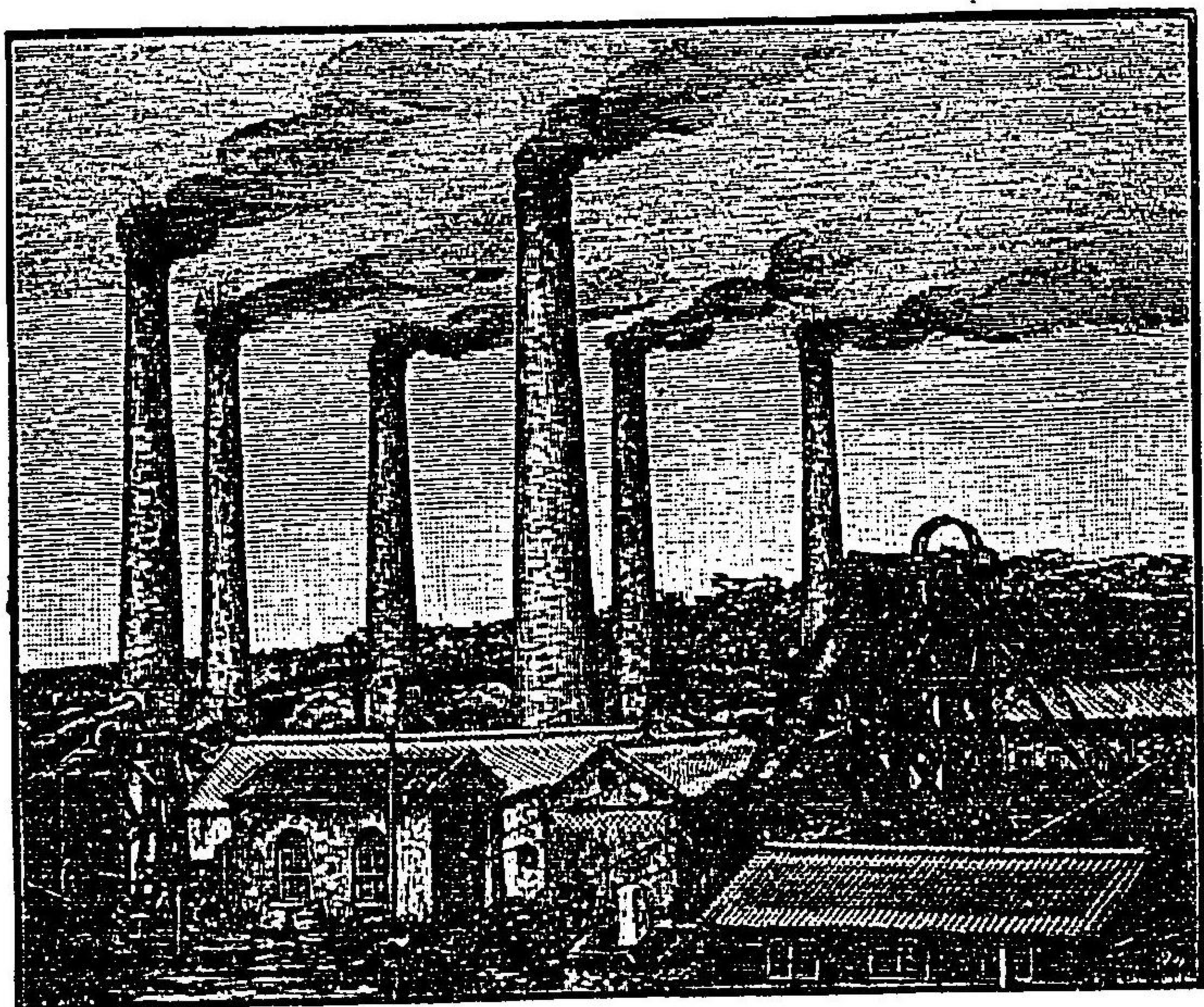
筑後國

筑後川

鐵道肥前ヲ掠メテ筑後ニ入ル。國境ハ九州第一ノ筑後

川ナリ、此ノ川豊後ノ日田ノ莊ヨリ出デテ筑肥ノ間ナル筑紫瀉ニ注グ。筑紫トハ古ヘ兩筑地方ヲモ又九州一帯ヲモ稱セシ名ナリ。筑後川ハ昔南朝ノ忠臣菊池肥後守武光ガ八千ノ兵ヲ以テ少貳頼尙ガ六萬ノ大軍ヲ擊破リシ所ニシテ其ノ太刀洗石ハ歸來河水笑洗刀血迸奔端噴紅

三 池 炭 鐵 一 部



最盛ノ炭鑛

雪』ノ處ナリ。川ヲ渡レバ久留米ニシテ、久留米紼ノ產地ナリ。其レヨリ柳河ノ東ヲ過ギテ肥後ニ入ル。肥後境ニ三池炭山アリ、炭鑛ノ最モ盛ナル者ノ一ニシテ、一日ニ千噸以上ヲ出ス。

〔摘要〕

- 山 三池炭山
- 海 筑紫灣
- 川 筑後川
- 鐵道 九州鐵道
- 名區 久留米 柳河
- 產物 久留米紼 石炭

肥前國

肥後ニ入ル前ニ、先ヅ肥前及ビ近海諸島ヲ觀察セン。肥

海岸線最長ノ國

前ハ獨リ九州山脈ヲ離レテ、兩筑ノ西ニ突出セル半島ナリ。此ノ半島ハ諸方ニ向テ枝多ク、屬島亦多ク、而モ海岸ニ凹凸多クシテ、全國中海岸線最モ長キ國ナリ。半島ノ枝幹共ニ山脈貫通セリ。

佐賀

九州鐵道ガ兩筑過渡ノ點ニ於テ國ノ東北隅ヲ縫ヘルヤ、直チニ支線ヲ發シテ大抵長崎街道ニ沿フ。其ノ佐賀ハ長崎ニ亞ゲル當國ノ都會ニシテ、佐賀縣廳此ニアリ、先年江藤新平ノ亂アリシ所ナリ。進ミテ有田ニ至ル、此ハ有名ナル有田燒ノ產地ナリ。其ノ西北ナル伊萬里港ハ陶器ノ輸出地ニシテ、古クヨリ陶器ノ產地ナレバ、有田燒モ亦伊萬里燒ノ名ヲ冒スコト多シ。姑ク此ノ海岸ニ就キテ語ランニ、伊萬里ノ東、筑前界ニ接スル唐津モ亦有名ナル陶器及ビ石炭

花崗石山

ノ產地ナリ。其ノ海上ニ突出セル名護屋ハ豊太閤征韓ノ本營ノ地ナリ。前ナル海ヲ松浦瀉ト云ヒ、松浦佐用媛ノ故事アル領巾振山一名鏡山ハ花崗石質ニシテ、唐津ノ東ニ立チ、同質ノ山脈ハ肥前ノ間ニ亘レリ。

鐵道ハ有田ヲ過ギテ後、左右ニ分レ、左ハ南ノ方長崎ニ達シ、右ハ反對ニ佐世保ニ至ル。佐世保ハ九州西岸ヨリ琉球海ヲ管スル軍港ニシテ鎮守府アリ。其ノ西北ニ平戸島アリ、此ハ葡萄牙人ト始メテ互市ヲ開キシ地ニテ、支那人鄭芝龍ガ國姓爺即チ鄭森ヲ生ミシ所ナリ。平戸ト本陸トノ間ヲ平戸ノ瀬戸ト稱シ、横濱、神戸ヨリ長崎乃至支那ニ航スル船ハ皆瀬戸内海、玄界灘ヲ經テ此ノ海峽ヲ通過ス。平戸ト地勢相續キテ五島列島アリ、五島錫及ビ鯨殊ニ有名ナリ。

長崎

長崎ハ當國ノ殆ド西南端ニアル良港ニシテ五港ノ一ナリ、長崎縣廳此ニアリ。舊幕府ノ鎖港時代ニモ獨リ此ノ港ヲ開キテ支那及ビ和蘭船ノ貿易ヲ許シタリ。長崎煙草、雲丹、鱒、鰯等有名ナリ。海上ノ高島ハ本邦ニテ最モ良質ノ石炭ヲ出ス處ナリ。

長崎ノ東ニ島原半島アリ、其ノ形囊ノ如クニシテ筑紫瀉ノ灣口ニ當レリ。中央ニ峙テル活火山温泉岳ハ其半腹ナル島原温泉ヨリ名ヲ得タリ。東岸ナル島原ハ昔耶蘇教ヲ奉ゼル一揆ノ據リシ所ナリ。

三池炭山ノ脈

當國ノ山脈ヲ按ズルニ五島、平戸ヨリ起リテ國內ニ蔓延シ、筑前ニ延ビ、一派ハ三池炭山ノ脈トナリ、筑後ノ境ヲ遠リテ北ノ方筑前、豊前ノ炭山トナリ、門司ニ至ル、全國中最モ多

ク石炭ヲ供給スル山脈ナリ。其ノ岩石ノ質ハ中國山脈ト同ジ、蓋シ中國山脈ガ海ヲ越エテ現レタル者ナリ。是複雑ナル九州山脈ヲ分拆セル一部ニシテ、地學者或ハ此ノ部分ヲ筑紫山脈ト云フ。

〔摘要〕

- 山 筑紫山脈 領巾振山 温泉岳
- 海 筑紫灣 松浦灣 平戸瀬戸
- 島 平戸島 五島 高島
- 鐵道 長崎街道本線 佐世保線
- 名區 佐賀 有田 伊萬里 唐津 名護屋 佐世保 長崎
- 島原
- 產物 有田燒 伊萬里燒 唐津燒 石炭 五島錫 鯨
- 長崎烟草 雲丹 蠟 鱒

壹岐國

本邦中 最小國 壹岐ハ肥前ト松浦瀨ヲ隔テタル島國ナリ。面積八方里許ニシテ全國中ノ最小國ナリ。此ノ國隱岐火山脈ヨリ續キテ平戸、五島ノ火山地ニ連ナレリ。

對馬國

對馬ハ壹岐ノ西北ニアリテ、韓國ト海路僅ニ三十里ヲ隔テタル島國ナリ。一國上下二島ニ分レ、上島ナル嚴原ハ韓國トノ貿易港ニシテ、島司廳アリ警備隊アリ。此ノ國古ヘヨリ外交ノ衝ニ當ルヲ以テ、人民愛國敵愾ノ氣象ニ富メリ。地味硬确ナレドモ漁利頗ル多ク、長崎鱒、長崎雲丹ハ實際此

ノ地ノ産ナル者多シ。

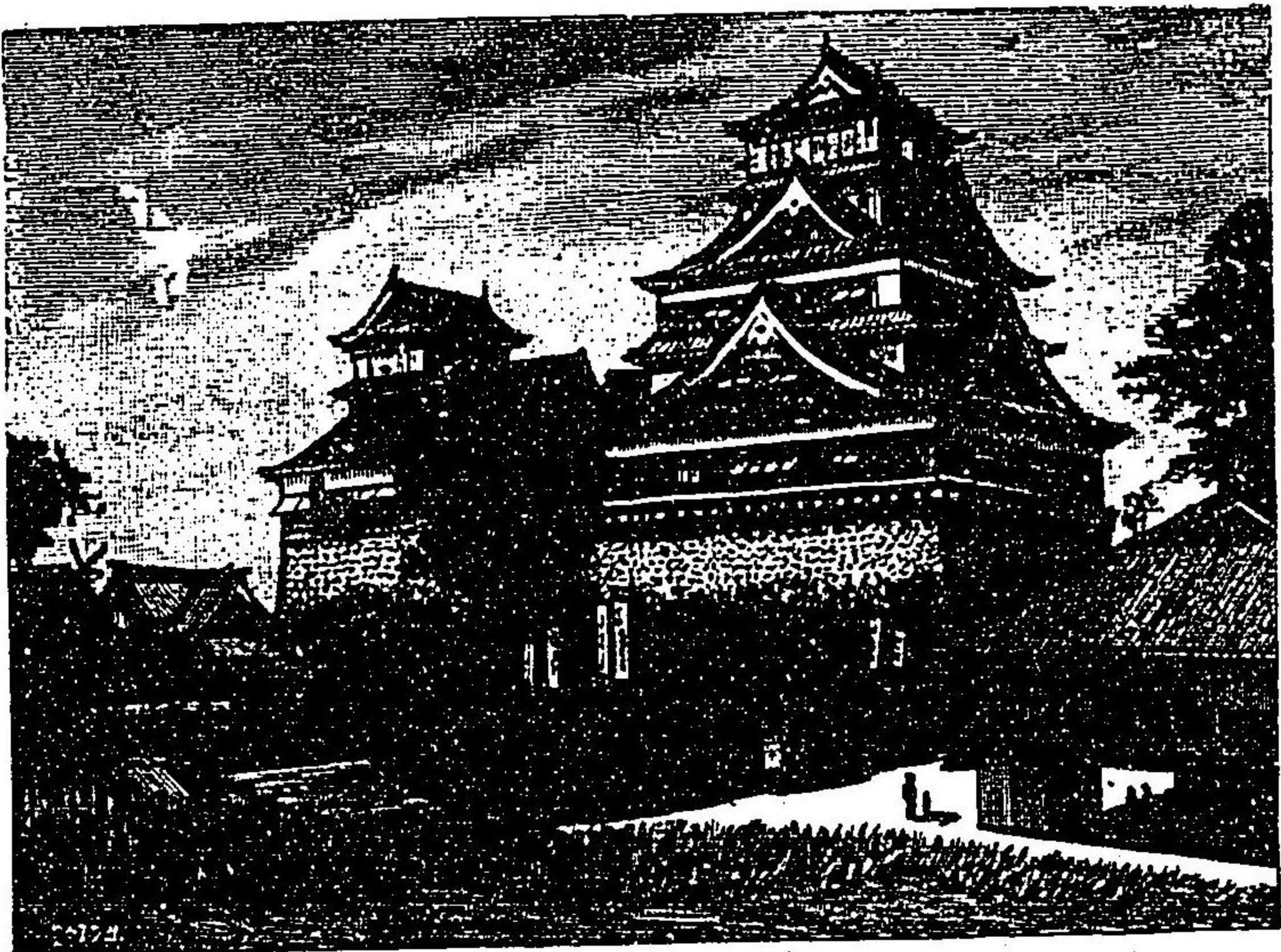
〔摘要〕 名區 嚴原

産物 鱒 雲丹

肥後國

肥後ハ九州山脈ノ西面ノ國ニシテ、山勢水理例ノ單簡ナリ。筑後境ヨリ此ノ國ノ熊本ニ至ルニ高瀬道、山鹿道ノ二道アリ、何レモ西南ノ役ノ古戰場ナルガ、九州鐵道ハ高瀬道ニ敷設セラレタリ。高瀬ヲ流ルル高瀬川一名菊池川ノ流域ハ全國第一等ニ位セル肥後米ノ中、殊ニ良質ト稱セラルル菊池米ノ産地ナリ。熊本ハ熊本縣廳ノ所在地ナリ、其ノ師團司令部ナル熊本城ハ加藤清正ガ築キシ名城ニシテ、十

熊本城



年ノ役ニ西郷隆盛ガ薩摩健兒ヲ率井テ攻メアグミシ所ナリ。熊本ヲ出デテ直チニ白川ヲ渡ル、其ノ發源スル所ハ大活火山阿蘇山ノ舊火口湖ナリ、此ノ山ノ事ハ後ニ委シクスベシ。西南部ニ至リテ八代ハ現ニ九州鐵道ノ達セシ點ニシテ、是ヨリ南薩摩ノ鹿兒島ニ至ル線路モ敷設ノ議已ニ決セリ。八代附近

三急流

ニ落ツル球摩川ハ木曾川最上川ト共ニ日本三急流ノ一ナリ、其ノ上流ナル五箇莊ハ平家ノ落人ノ隱處ト云ヒテ、維新前ハ世間ト交通セズ、別ニ一天地ヲ成シタリキ。八代ノ前面ナル天草島ハ島原一揆ノ徒ノ初ニ起リシ處、其ノ外海ヲ天草灘ト云フ、賴山陽ガ『萬里舶舟、天草洋』ト云ヒシハ是ナリ。天草ト八代ノ間ナル内海ヲ八代海ト云ヒ、初秋ノ頃海上ニ燐光ヲ發ス、是有名ナル筑紫ノ『不知火』ナリ、故ニ上古ハ此ノ國ヲ火國ト呼ビタリシヲ、後ニ『肥』ノ字ヲ充テ、更ニ前後ニ分チテ肥前、肥後トハ稱セシナリ。大凡菊池川ヨリ球摩川ニ至ルマデハ筑紫平野ニシテ、川流疏通シ田野開ケタリ、其ノカミ加藤清正ノ經營セル者多シト云フ。

此ノ國ノ山脈ヲ按ズルニ、天草島邊ヨリ起リテ本陸ノ南

不知火

筑紫平野

九州最高山

可愛岳ノ脈

境ニ沿ヒ、北シテ日向境トナル、其ノ市房山ハ九州ノ最高峯ニシテ直立六千尺、亦富士ノ半ニシテ、中國、四國ノ最高峯ト伯仲ス。其レヨリ遂ニ日向、豊前ノ間ニ蟠リテ、可愛岳等トナリ、海ヲ渡リテ四國山脈トナル。地學者或ハ此ノ山脈ヲ南部山脈ト名ヅケ、之ニ對シテ三池炭山ノ脈ヲ北部山脈ト稱ス。此ノ南北兩山脈ノ間ハ元ハ瀬戸内海ニ續キタル低地ナリシヲ、後ニ阿蘇火山脈噴起シテ高地トナリタルナラント云フ。

阿蘇火山脈ハ阿蘇山ヨリ北ニ延ビテ、彦山及ヒ豊後富士トナリ、國東ノ文珠岳トナリ、海ヲ越エテ四國ニ入り、大和、伊勢ヲ通過シテ、遂ニ三河ノ鳳來寺山トナル。

〔摘要〕

山 南部山脈 市房山 阿蘇山

阿蘇火山脈

海	天草灘	八代海
川	高瀬川	白川
島	天草島	球摩川
平野	筑紫平野	
鐵道	九州鐵道	
名區	高瀬	山鹿
產物	肥後米	熊本
		八代
		五箇莊

薩摩國及ビ大隅國

霧島火山脈
薩摩大隅ハ其ノ間ニ鹿兒島灣ヲ夾ミテ、稍兩脚ノ狀ヲ成セリ。此ノ二國ハ九州山脈ノ最南部ナル霧島火山脈ノ蟠ル所ニシテ、殆ド全部火山質ヲ以テ成レリ。九州街道肥後ヨリ來リ、川内川ヲ渡リ、芹野金山及ビ薩摩

鹿兒島

燒ノ產地ノ附近ヲ過ギ鹿兒島灣頭ナル鹿兒島ニ至ル。鹿兒島ハ鹿兒島縣廳ノ所在地ニシテ、維新ノ元勳、蓋世ノ英雄西郷隆盛ガ生マレシ所、其ノ市西ナル城山ハ十年ノ役ニ隆盛ガ敗死セシ所ナリ。此ノ地亦陶器及ビ薩摩絣ヲ産ス、然レドモ薩摩絣ノ多クハ實ニ琉球ノ産ナリ。灣内ノ櫻島ハ大根ニ有名ナリ、其ノ櫻島岳ハ形富士ニ似タル活火山ナリ。鹿兒島ヨリ南ノ方沿海ノ縣道ヲ行ケバ、軍馬育成所アリ、煙草ノ產地アリ。國ノ南端ニ峙テルハ薩摩富士ト稱セラルル海門岳(カイモン)又開聞岳(カイブン)ニシテ、航海ノ目標タリ、其ノ西方ノ海濱ハ鯨ノ漁獵盛シニ、薩摩節ハ土佐節ニ次ギテ天下ニ稱セラレ。凡ソ馬、烟草及ビ黃金ハ薩隅處處ニ産出シ、殊ニ黃金ハ産額佐渡ニ伯仲シ、全國一二ノ多額ナリ。甘薯ハ到ル處之

ヲ産セザルハナク、四時ニ生出シ、味淡泊ニシテ亦常食ニ適セリ。

圓錐形ノ山

櫻島及ビ海門岳ハ霧島火山脈ニシテ、延キテ海南ノ諸島及ビ臺灣ニ至リ、北ハ肥後ノ海岸ニ延ビテ、肥前ノ温泉岳ニ至レリ。我等ハ前章ヨリ南部富士、津輕富士、但馬富士、豊後富士、薩摩富士等ノ名ヲ聞ケリ、而シテ何レモ皆火山ナリ、以テ火山ニハ圓錐形即チ摺鉢形ノ者多キヲ知ルベシ。

更ニ鹿兒島ニ立返ラン。國道ハ鹿兒島ヨリ大隅ニ入ル。大隅ノ國分ハ煙草ノ產地ニシテ、所謂薩摩國分是ナリ。其レヨリ暫ク海濱ニ沿ヒ、東ニ折レテ日向ノ都城ニ會ス。

薩隅ノ地ハ上古ニ襲國ト稱シ、又其ノ人民ノ豪勇慍悍ナルヲ以テ熊襲國ト云ヒ、後ニハ其ノ國人ヲ隼人ト云ヒシガ、

爾來豪勇慍悍相繼ギテ以テ今日ノ薩摩男兒ニ至レリ。

〔摘要〕

- 山 霧島火山脈(二國) 芹野金山 櫻島岳 海門岳(以上薩摩)
- 海 鹿兒島灣(二國)
- 川 川内川(薩摩)
- 島 櫻島(薩摩)
- 名區 鹿兒島(薩摩) 國分(大隅)
- 産物 黄金 馬 薩摩煙草 甘薯(以上三國) 薩摩燒
- 薩摩紵 櫻島大根 薩摩節(以上薩摩)

大隅諸島

大隅諸島又薩南諸島トモ稱セラレ、薩隅ヨリ西南ニ列シテ琉球ニ接スル島嶼ナリ。大隅ニ最モ近キ、細長キ島ハ種子島ニシテ、天文年中西洋人初メテ鐵砲ヲ傳ヘシ地ナリ。

此ノ島大抵平坦ニシテ最モ開拓ニ適セリ、又此ノ地ニ使用
スル『牛馬』ハ馬頭牛身ノ奇獸ナリ。

次ニ屋久島ハ鯉節ヲ産ス。

次ニ寶七島(一名土噶喇群島)ハ七島表(疊表)ノ產地ナリ。

次ニ大島ハ大島紬ノ產地ナリ、西郷隆盛ハ嘗テ三タビ此
ニ流サレテ、大島三右衛門ト名ノリキ。大島ニ並ビタル喜
界ガ島ハ清盛ヲ圖ラントシテ流サレシ平康頼ガ『薩摩湯沖
ノ小島に我はありと親には告げよ八重の潮風』ト詠ミシ所
ナリ。

次ハ徳之島、沖之永良部島、與論島ヲ重ナル者トシ、大島ヨ
リ與論ニ至ルマデテ奄美群島ト稱スルコトアリ、大島ハ古
ヘノ歴史ニ所謂奄美ナレバナリ。

〔摘要〕

島	種子島	屋久島	寶七島	奄美群島
産物	七島表	大島紬	鯉節	牛馬

琉 球

琉球ハ源爲朝ガ伊豆ノ大島ヨリ逃レ來リシ所ニシテ、其
ノ子舜天王内亂ヲ平ゲテ王位ニ居リ、子孫相承ケテ明治ノ
世ニ至レリト云フ。近代マデ日清兩屬ト稱シテ兩方ニ朝
貢セシテ、維新ニ至リ吾ガ國ニ專屬セシメ、一致ノ政治ノ下
ニ沖繩縣トセラレタリ。

琉球ハ沖繩群島、先島群島ノ二群島ヨリ成レリ。其ノ沖
繩群島ハ直チニ奄美群島ニ接シ、沖繩島ヲ以テ主島トス。
沖繩島ハ細長キ島ニシテ、山脈之ヲ貫キ平地甚ダ少ク、勿論

首里中山門



地味ハ一般ニ瘠セ、國人多ク甘薯ヲ常食トス、サレバ甘薯

大河ナシ。島ノ南部ナル那覇港ハ琉球第一ノ要港ニシテ、沖繩縣廳此ニアリ、鹿兒島ヨリ大島ヲ經テ海路四百海里即チ二百里ニ足ラズ。有名ナル薩摩紵及ビ上布ハ多ク那覇ヨリ出デ、其ノ他琉球紵、琉球泡盛、及ビ琉球塗皆有名ナリ。那覇近邊ナル首里ハ舊ノ王城地ナリ。先島群島ハ宮古列島ト八重山群島トヨリ成レリ。

チ亦『りりきういも』トモ稱セリ。甘薯ニモ適セザルノ地ニハ蘇鐵ヲ植エテ其ノ幹ヲ食フ。琉球蘇鐵ハ盆栽トシテ亦名アリ。地形狹少ニシテ深山大澤ナキ故、熱國ナレドモ猛獸棲息セズ、唯飯倩七ト稱スル毒蛇アリテ人ヲ害ス。言語風俗ハ元來本土ト大同小異ナリシガ、置縣以來專ラ普通教育ヲ施サルル故、風化日ニ新ナルベシ。人情ハ極メテ溫順ナリ、交通益開ケ、見聞日ニ多カラシムルニハ其ノ狹固ナル者應ニ面目ヲ變ズルニ至ルベシ。

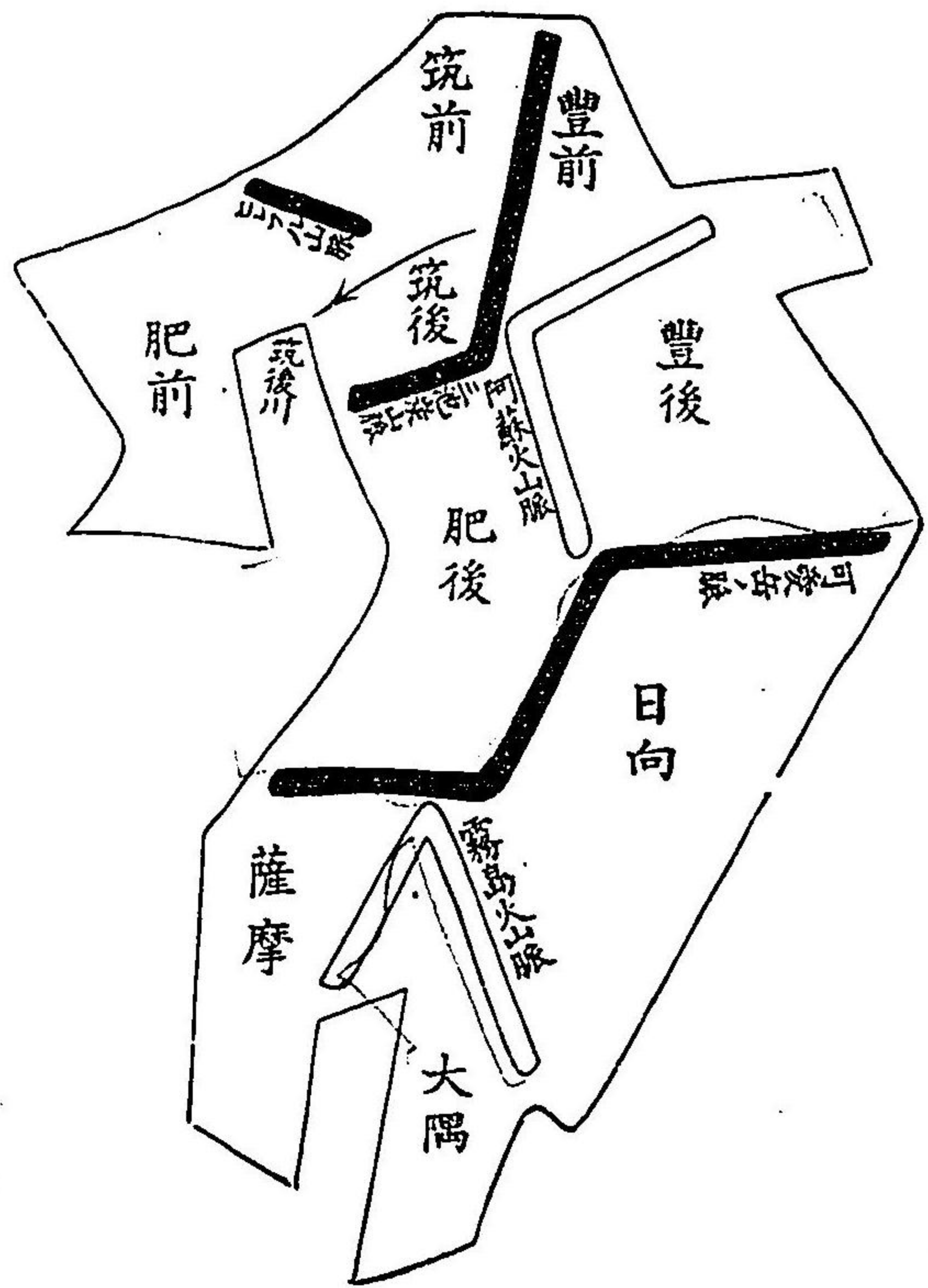
〔摘要〕

- 島 沖繩群島 宮古列島 八重山群島
- 名區 那覇 首里
- 産物 上布 木綿紵 琉球紵 琉球塗 琉球泡盛 蘇鐵

西海道概要 西海道ノ重ナル部分ハ九州ニシテ、其ノ大サ

北海道本島ニ半シ、四國ニ二倍ス。既ニ云ヘル如ク九州諸國ハ地勢單簡ナレド、山脈ハ複雑ナリ、今略圖ヲ以テ國界ノ山河ヲ示サバ、大凡圖ノ如クナルベシ。氣候ハ北

海岸ノ各地及ビ壹岐、對馬即チ日本海ノ西北風ヲ受クル地ヲ除キテハ、皆溫暖ニシテ、年中霜雪ヲ見ルコト罕ナリ。然



レドモ其ノ南國ナル割合ニハ夏季ノ溫度甚ダ高カラズ、若シ一日ノ最高度ヲ比較セバ、或ハ中國、北國ヨリ低キコトアルベシト雖モ、唯其ノ時限甚ダ長ク、一日ニシテハ高度夜ニ亘リ、一年ニシテハ六月ヨリ九月ニ持續ス。故ニ暑氣凌ギ難ク、平均溫度亦高シ。琉球ハ更ニ二百里ノ南ニアリト雖モ、小島國ノ性質トシテ、暑氣サノミ酷烈ナラズ、九州ノ最高九十六七度ニ及ベトモ、琉球ノ最高ハ九十二三度ノミ。然レドモ琉球ハ殆ド四季ノ別ナク、唯寒暖ノ二季アリ、隨テ暑氣ノ持續長ク、平均溫度稍九州ヨリ高シ。風及ビ雨一般ニ多ク、殊ニ夏秋ノ交、二百十日前後ノ颶風ノ中心ハ、常ニ南洋ヨリ本道ヲ經、北東ニ向ツテ進行ス。農産ハ肥後米ヲ第一トシ、豊後大豆、肥前、薩摩ノ煙草等有名ナリ、其ノ他砂糖、藍、柑

自然生
ノ茶

橘類ノ善ク成育スルコト南海道ニ同ジ。竹モ亦暖國ニ適
 スルガ故、薩隅地方ニハ往往周圍三尺ノ者ヲ見ル。茶ハ未
 ダ名産ノ聞ユル者アラズト雖モ、到ル處自然生ノ茶樹アル
 ナ以テ其ノ適地タルヲ知ルベシ。日向ニハ近來こおひい、
 きな等熱國植物ヲ試植セリ。礦産ニハ黄金、石炭實ニ全國
 一二ノ産額ナリ。工業品ハ有田ノ陶器ヲ最トシ、唐津燒、薩
 摩燒、豊前小倉、筑前博多、薩摩紵、薩摩上布、大島紵、琉球紵等皆
 特絶ノ者ナレド、薩摩製品、大島紵等ハ人工ヲ要スルコト甚
 ダシク、産額割合ニ少シ。水産ニハ薩摩節及ヒ長崎製品ア
 リ。總ベテ九州ハ石炭ノ自由、工費ノ低廉、其ノ他種種ノ點
 ヨリ將來工業地トシテ甚ダ有望ナリト云フ。他日九州諸
 鐵道全通スルニ至ラバ、内外ノ通商亦全然面目ヲ革ムベシ。

工業地

人情ハ一般ニ剛直、素樸ニシテ、就中隼人ノ國今ニ至ルマデ
 最モ慥悍ナリ。

第十一章 臺灣及澎湖列島

臺灣及澎湖ハ、戰國ノ頃ヨリ邦人ト支那人ト和蘭人ト互ニ勢力ヲ競ヒシ地ナリ。而シテ臺灣ノ風景鬱蒼トシテ白波ノ間ニ立テルヲ以テ、洋人ハ美島ノ義ヲ以テふれるも、さと名ヅケ、邦人ハ之ヲ高砂ト美稱セリ。斯クテ後我ハ久シク海外ト絶縁シ、支那人專ラ此ニ殖民シ、遂ニ支那版圖ノ姿トナリ、我ハ唯玉砂糖ノ名ニ臺灣ヲ識リ、『鶻影低迷帆影沒、天連水處是臺灣』ト想像スルノミナリキ。明治七年臺灣征討ノ事アリ、爾時支那ハ金ヲ我ニ納レテ事寢ミニシガ、二十七八年日清ノ役ニ支那ハ媾和條件ノ一トシテ臺灣、澎湖ヲ我ニ割讓セリ。支那往時ヨリノ移民ハ猶明朝ノ風俗ヲ存

新高山脈

スル者アレド、近代ノ移民ハ皆清朝風ノ辮髮ナリ。臺灣ハ琉球ノ西南ニ位シ、臺灣海峽ヲ隔テテ支那ノ南部ト相對シ、長崎ヨリ西南海路三百里ニアリ、但シ最近時撰定ノ航路ハ土佐沖ヲ過ギ、鹿兒島ヲ經テ至ル者ナリ。其ノ形南北ニ長ク、面積ハ大凡九州ト同ジクシテ稍小ナリ。新高山脈中央ヲ縱貫シ、地勢ヲ東西二部ニ分テリ。西部ハ肥沃ナル平地ニシテ、支那人及ビ本土人等ノ移住營業スル所ナリ。東部ハ一帯ニ深山幽谷ニシテ、山勢直チニ海岸ニ迫リ、北部ノ絶壁高サ六千尺ニ至ル者アリ、世界有名ノ峻岸ニシテ、其ノ良港ナキ固ヨリ言テ俟タズ。而モ其ノ住民ハ本島固有ノ土人所謂生蕃ニシテ、蒙昧殘忍、嘗テ琉球人ヲ殺シテ七年ノ討伐ヲ蒙リシ牡丹社ノ如キ者十餘社アリ、文字ナ

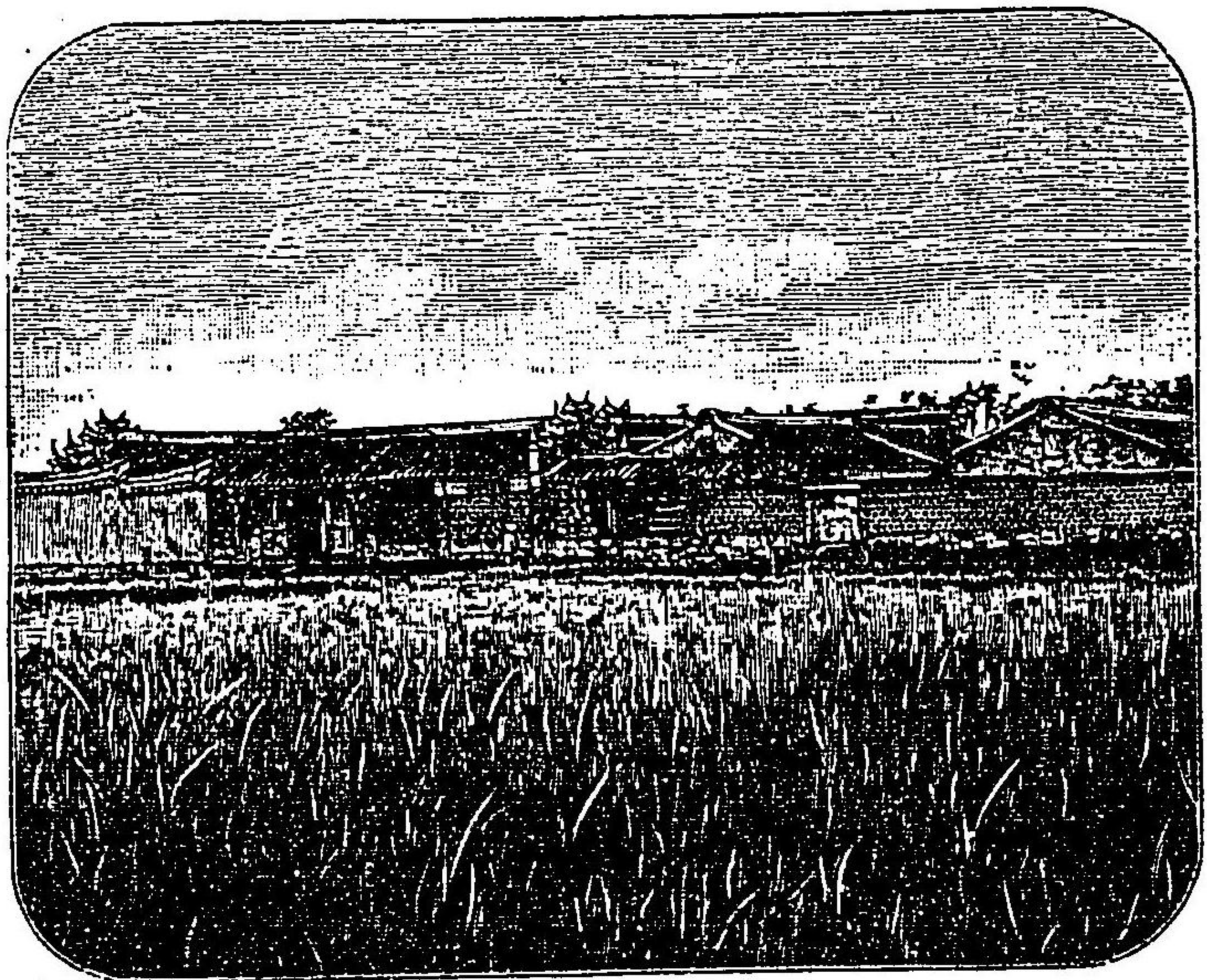
ク、教育ナク、胸當、膝掛及ビ獸皮ノ外套ヲ着シ、獸獵ヲ以テ生活スル外、間々、牧畜耕作等ヲナス者アリ。何レモ皆支那人ヲ視ルコト仇敵ノ如ク、多ク其ノ頭顱ヲ得ルヲ以テ名譽トセリ。土人ノ稍開化シタル者ハ出デテ支那人等ト共ニ業ヲ營ム、之ヲ熟蕃ト稱ス。サレバ東部ハ目下殆ト未知ニ屬シ、地理ノ語ルベキ者ハ唯西部ノミ、今左ニ概要ヲ述ベン。

臺灣ノ北端ニ半圓形ノ半島アリ、其ノ突角ヲ富貴角ト云フ。半島ノ最北ナル大屯山ハ休火山ニシテ、霧島火山脈ニ屬ス、其レヨリ東岸ニ回レバ金色里アリ多ク黄金ヲ産ス、更ニ東シテ半圓ノ頸ニ至レバ基隆港アリ、本土ノ人上陸ノ要港ニシテ、多ク臺灣炭ヲ輸出ス、即チ此ノ附近ニ産スル石炭ナリ。臺灣鐵道ハ基隆ヨリ起リテ將ニ南北ヲ縱貫セント

ス、未ダ完成セズト雖モ、其ノ豫定線路ニ隨ヒテ説クベシ。

臺北

基隆ヨリ鐵道ニ乗ジテ半圓形ノ後面ナル臺北ニ至ル。臺北ニハ臺北縣廳アリテ北部ノ一縣ヲ管シ、又總督府アリテ全島ヲ統轄ス。淡水河其ノ西ヲ流レテ半圓ノ西頸淡水港ニ入ル、長さ二十里ニシテ實ニ全



島第一ノ大河タリ。總ジテ臺灣ハ河流皆短小ナルヲ以テ淡水ノ外ハ河ト云ハズシテ溪ト云フ。淡水河ノ流域ハ嘗テ近衛師團ガ土匪征討ニ最モ苦戰セシ所ナリ、此ノ河ノ附近ハ良田多ク、一年二度ノ收穫アリ、南部ニ至リテハ收穫三度ニ至ルト云フ、蓋シ熱國ニシテ植物ノ成育盛ナルニヨル。淡水河畔ニハ亦大稻埕アリテ製茶ノ業盛ンナリ。茶ハ臺灣輸出物中最高價額ヲ占ムル産物ニシテ皆歐米ノ需用ニ供ス、其ノ栽培所ハ重ニ北部ノ高地ナリ。

新竹

臺北ヨリ新竹ニ至レバ新竹縣廳アリ、是ヨリ嘉義ニ至ルマデハ鐵道工事中ナリ。新竹ヨリ本街道ノ左ニ行ケバ、苗栗ニ至ル、是臺灣主要ノ一産物ナル樟腦産地ノ一ナリ。大抵樟樹ハ東部山地ニ多シ。

臺中

新竹ヨリ臺灣ニ至レバ臺中縣廳アリ、其ノ西ニ彰化アリ、彰化ヨリ南シテ嘉義ニ至ル、此ノ道ハ鐵道豫定線ナリ。

新高山

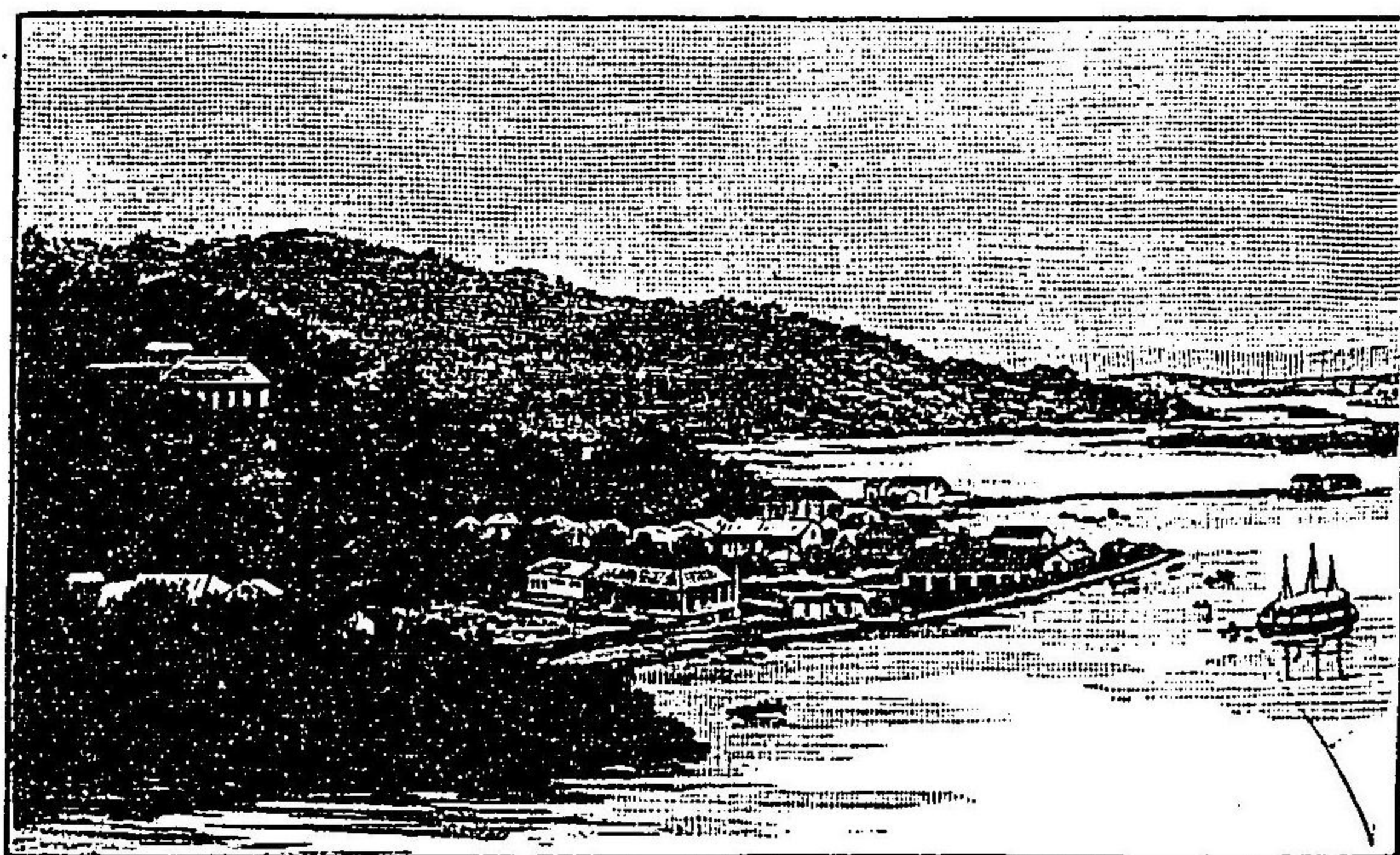
嘉義ニハ嘉義縣廳アリ。新高山遙カニ嘉義ノ東ニ立ち、高サ本土ノ富士ト伯仲ス、故ニ俗ニ臺灣富士ト稱ス。此ノ山本島中ノ最高峯ニシテ、支那人ハ玉山ト呼ビ、世界一般ニハもりそん山ト云ヘリ。臺灣我が版圖ニ入ルノ年、新年御題『寄山祝』トアリケレバ、或人ノ詠メル『沖つ浪高砂の島も今年より君が千歳を守り初めの山』三十年八月勅シテ名ヲ新高山ト賜ヒキ。

臺南

嘉義以南鐵道既ニ成レリ。臺南ニ至レバ臺南縣廳アリ、其ノカミ蘭人ノ築キシ紅毛城アリ、蘭人去リシ後、鄭成功此ノ地ニ據リテ全島ヲ管セリ。其ノ西ニ安平港アリ、亦蘭人

鳳山

打狗港



ノ古城アリ、濱田彌兵衛ノ事、其ノ他外國交渉事件ハ、大抵此ニ起レリ。

臺南ヨリ鳳山ニ至レバ、鳳山縣廳アリ、製糖甚ダ盛ンナリ。總ベテ製糖ハ南部ノ沿岸地方ニ多シ。鳳山ノ西ニ打狗港アリ、縦貫鐵道ノ南端ナリ。島ノ最南端ヲ南岬ト云フ、即チ日本帝國ノ最南端ナリ。

澎湖列島ハ臺灣ト支那トノ間ニアリ、澎湖ヲ主島トシ、漁翁

島、白沙島ト共ニ巴ノ狀ヲ成セリ。從來此ノ列島ハ、確不毛ノ地ト稱セラレシモ、最近ノ視察ニヨリテ全ク其ノ誤リナルヲ知レリ。但シ水利甚ダ乏シク、農業ノ辛苦多キハ事實ナリ。

臺灣諸島ハ吾ガ版圖ノ最南ニシテ、最モ熱キ國ナリ。其ノ冬ノ氣候ハ恰モ東京ノ春ノ如ク、夏ハ九州、琉球ヨリモ熱ク、時トシテハ百十度ニ至ルコトアリ、然レドモ夜ハ溫度大ニ下リテ涼氣人ヲ襲フ。雨ハ一般ニ多量ニシテ、晴雨二季節アリ、大抵夏期ヲ雨節トス。風亦強クシテ沿海風浪多ク、二百十日前後ノ暴風ハ、大抵本島ノ近海ニ起ル。熱國ナレドモ毒蛇猛獸少ク、唯野獸ニ豹アリ、農用動物ニ水牛アルヲ日本内地ニ異ナリトス。然レドモ支那無賴ノ移民所謂土

匪ナル者未ダ滅絶ニ至ラズ、其ノ良民ヲ害スルユト毒蛇猛獸ヨリ甚シク、内地ヨリハ守備隊ヲ發シ、近頃又土民ヲ募リテ護郷大隊ヲ組織セリ。蓋シ『萬馬不嘶、聽號令、諸蕃無事樂耕耘』ノ時ニ達スル應ニ遠キニ非ザルベシ。

〔摘要〕

山 新高山
 海 臺灣海峽
 岬 富貴角 南岬
 川 淡水河
 鐵道 臺灣縱貫鐵道(不日全通)
 縣廳 臺北 新竹 臺中 嘉義 臺南 鳳山
 名區 基隆 淡水 大稻埕 苗栗 彰化 安平 打狗
 產物 米 茶 石炭 砂糖 樟腦

第十三章 地勢交通ノ概要

廣袤

山河

地勢 上來叙述セシ我が帝國ハ五畿八道八十四個國、琉球及ビ臺灣ニシテ、大小ノ島嶼總ベテ六百、兩端ノ直經一千三百里、海岸線七千五百里、面積二萬七千方里、人口四千萬ニシテ、世界中島嶼最モ多ク、海岸線最モ長キ國ノ一ナリ。(附錄參看) 本州ノ面積ハ大凡全國ノ半ニ居リ、北海道ハ本州ノ三分一、九州ハ北海道ノ半ニシテ、四國ハ又其ノ半ナリ。而シテ各處ニ委曲セル地勢ヲ今爰ニ概括センニ、(一)富士帶ハ富士ヲ主山トシテ南ハ豆南諸島ニ至リ、北ハ越後ニ至リ本州ヲ中斷ス。
 富士帶以北ノ諸山脈ノ位地ヲ云ヘバ、(二)千島火山脈ハ千

島ヨリ來リ、北海道本島ノ脊梁トナリテ札幌附近ニ盡キ、(三)中央火山脈更ニ是ヨリ起リ、陸奥海峽ヲ渡リテ本州ノ分水脊梁ヲナシ、上州榛名ニ至リテ富士帶ニ合ス。(四)天鹽岳ノ脈ハ樺太ヨリ來リ、千島脈ヲ横斷シ、海ヲ越エテ(五)北上山脈トナリテ、中央脈ト南部大溪谷ヲ作り、又(六)阿武隈山脈トナリテ、同ジク福島三春地方ヲ作り、北上川、阿武隈川其レ其レニ流レテ共ニ仙臺灣ニ入ル。

(七)鳥海火山脈ハ陸奥ノ岩木山ヨリ羽前ノ鳥海山ヲ經、上州白根山ニ至リテ富士帶ニ會ス。中央、鳥海二火山脈ノ間ハ一帶ノ高地ニシテ、仙北高原アリ、其ノ御物川ハ秋田ニ流出ス、又最上高原アリ、其ノ最上川ハ酒田ニ流出ス、而シテ會津地方ニアリテハ、其ノ水阿賀川トナリテ新潟附近ニ注ギ、

兩毛高地ニアリテハ、其ノ水獨リ東ニ向カヒ關東平野ヲ流レテ利根川トナル。

(八)彌彥火山脈ハ男鹿半島ヨリ越後ノ彌彥山、米山トナリ、妙高山ニ至リテ富士帶ニ合ス。鳥海、彌彥兩山脈ノ間ハ一帶ノ平地ニシテ、信濃川信濃ヨリ富士帶ノ凹處ヲ貫キテ流通シ、本州第一ノ長流ヲ成セリ。(九)隱岐火山脈ハ日本海中ノ火脈ニシテ、佐渡、能登、隱岐、壹岐ヲ貫キテ平戸ニ至ル。

富士帶ノ南ナル諸山脈ハ、(一〇)立山火山脈ト(一一)赤石火山脈ト信州ヲ夾ミ、(一二)木曾山脈其ノ間ヲ通リテ東西二谷ヲ成ス、東ナル諏訪、伊那ノ水ハ天龍川トナリテ遠州ニ出デ、西ナル木曾ノ水ハ木曾川トナリテ伊勢海ニ入ル。其ノ赤石山脈ハ海ヲ渡リテ(一五)紀伊山脈トナリ、其ノ北ノ諸水ハ

紀ノ川トナリ、其ノ南ノ諸水ハ熊野川トナル。紀伊山脈海
ヲ渡リテ (一四) 四國山脈トナリ、又海ヲ渡リテ (一五) 可愛岳ノ
脈トナル。西南諸國ノ水理ハ甚ダ簡明ナリ。

飛驒ノ西境ナル山脈ハ近江、京攝ノ北ニ連亘シテ山陽、山
陰ノ間ヲ通過シ、總ベテ (一六) 中國山脈ト汎稱セラレ、早軻瀨
戸ヲ渡リテ (一七) 三池炭山ノ脈トナル。中國、紀伊兩山脈ノ
間ヲ連接スル (一八) 養老鈴鹿ノ脈アリ、山西ノ水ハ淀川トナ
ル。三池ノ脈ト可愛岳ノ脈トノ間ニ (一九) 阿蘇火山脈起リ、
四國、畿内ヲ過ギテ三河ノ鳳來寺山トナル。中國山脈ノ北
ニハ加賀ノ白山火山脈走レリ。可愛岳ノ脈ノ南ニハ (二〇)
霧島火山脈アリテ、薩南諸島ヨリ臺灣ニ及ベリ。
是等ノ外、畿内諸山脈ノ如キ著名ナル山ヲ含ミテ而モ大

街道

鐵道

勢ニ緊要ナラザル者亦多シ。

交通 交通ハ湖海ノ沿岸、河川ノ流域、或ハ溪谷、高原等ノ平
地ニ起ル者ニシテ各島ノ街道ハ皆海岸地方ヲ一周セリ。
本州ニアリテハ、畿内ノ街道ハ河域及ヒ海岸ニアリ、山陽、山
陰、東海、北陸ノ街道ハ何レモ海岸ヲ通り、東山道ハ琵琶湖沿
岸、木曾川、利根川、阿武隈川、北上川ノ諸流域、陸奥海岸、御物川
最上川ノ流域ヲ通過セリ。又東京ヲ中心トシテ諸道ニ通
ズル者ノ中、東海道、奥州街道ハ已ニ云ヘリ、其ノ他ハ皆關東
平野或ハ信州高原等ヲ通過ス。(武藏ノ條參看)

鐵道ハ已ニ是等街道ノ最モ急要ナル者ニ敷設セラレタ
リ。本州ニ於テハ馬關ヨリ三府ヲ通過シテ青森ニ至ル東
南縱貫線殆ト全通セリ。日本海岸ハ北陸道一帶既ニ通ジ

タル處及ビ工事中ノ處多シ。太平洋ト日本海トノ間ハ、最モ幅ノ廣キ處ニ於テ東京ト越後ト連絡シ、最モ狹キ處ニ於テ敦賀ト東海ト聯絡セリ、播但鐵道等亦漸ク全通スベシ。以上ヲ主要ナル線路トス。其ノ他九州ト臺灣トハ縦貫線早晚ニ通ズベク、北海道本島ト四國トハ各々一局部ニ過ギズ。既成線總計二千餘哩、即チ八百餘里ナリ。

電信ハ鐵道線路ノ及ブ所ハ勿論、遍ク全國緊要ノ市邑ニ及ビ、局數(取扱所ト共)八百ニ近ク、線路四千里、線條ノ延長之ニ三倍ス。此ノ外海底及ビ河底電線アリ、內國緊要ノ諸島及ビ外國ヲ連接ス。(交通圖參看) 近來電話アリテ、唯都市內ノ通信及ビ各停車場間ノ用ニ供スルノミナレド、早晚三府ヲ連絡スルニ至ルベシ。

電信

海路

海路ハ、大畧已ニ云ヘル如ク、横濱ヲ中心トスル者ハ全國沿岸ヲ一周ス、又外國航路ハ東西ニ航路アリ、東方航路ハ米國ニ趣キ、西方航路ハ神戸ヲ經テ、支那、朝鮮、露領浦潮斯德、歐洲等ニ趣ク。次ニ大阪ヲ中心トスル者ハ、中國、南海道、西海道諸港ノ外、朝鮮、支那ニ航路ヲ開ケリ。次ニ新潟ヨリ浦潮斯德ニ至ル新航路アリ、以上ヲ主要ナル者トス。

第十四章 氣候、產物等ノ概要

溫度

氣候 本邦ハ細長キ國ニシテ南北ノ差甚ダ大ナレド、幸ニ島國ナルト潮流ノ故トテ以テ、寒暖ノ差割合ニ大ナラズ。臺灣ノ最高、上川ノ最低ハ已ニ云ヘリ、而シテ年中平均溫度ハ臺灣七十度、上川四十度ナリ。全國年中ノ平均ハ五十四度半ニシテ、東京、京都ノ平均ヨリ稍低ク、金澤、新潟ノ平均ニ大凡同ジ。

風雨

又本邦ハ細長クシテ、西北ニ大陸ヲ控ヘ、東南ニ大洋ヲ受クルヲ以テ、其ノ風雨ハ大陸大洋ノ關係ニ感ズルコト甚ダ大ナリ。即チ夏期大陸甚ダシク熱シ空氣稀薄トナル時ハ、大洋ノ東南風之ヲ補充ス、此ノ時本邦ハ多ク東南風ヲ受ケ、

其ノ水蒸氣ハ沿岸山脈ノ爲メニ冷却セララルル故ニ、太平洋沿岸諸國ニ雨多クシテ、日本海岸諸國ニ少シ。之ニ反シテ冬季ハ大陸ノ寒氣甚ダシク、大洋ハ依然トシテ暖カナルガ故ニ、西北風大陸ヨリ送ラル、此ノ時日本海岸ニ雨雪多クシテ、太平洋岸ニ晴天多シ。此ノ二方面ノ雨ヲ避ケテ雨雪ノ少キハ、二方面ノ山脈間即チ瀬戸内海地方、信州地方等ナルコト、大略已ニ云ヘリ。(雨量圖參看) 然レドモ山岳ノ位地等ニヨリ、各地方ニ於テ多少ノ差異ヲ起ス、コトアルハ勿論ナリ。臺灣ニ晴雨二季節アルモ、全ク同理ニシテ、即チ西南風ノ季節ハ中央山脈以西ノ雨節ナリ、東北風ノ季節ハ之ニ反ス。

毎年三月及ビ九月即チ舊曆ノ「二八月」ヲ「あれづき」ト云ヒ、

殊ニ立春ヨリ二百十日目前後ニ暴風アルハ、此ノ寒風、暖風
 交換ノ時ニシテ空氣ノ濃淡(即チ氣壓)常チ失スレバナリ。
 而シテ暴風ノ中心ハ大抵臺灣沖ヨリ西南諸道ヲ經、本州ヲ
 中斷シ、日本海ヨリ北海道ヲ通過シテ東ニ走ル。又梅雨ト
 テ六月頃大凡三十日間ノ霖雨アルハ、遙カニ西南印度洋ニ
 於テ吹ク所ノ定時風ノ餘波ニシテ、此ノ西南風ハ極メテ濕
 氣ヲ含ムガ故ナリト云フ。

氣象區

風雨寒暑ハ山岳ノ向背、海洋ノ位地等ニ因リテ異ナルヲ
 以テ、氣象區ヲ七區ニ分チ、東京中央氣象臺ハ毎日各區ノ測
 候所(附錄參看)ヨリ電報スル風位、氣壓、溫度等ニ據リ、各區ノ
 天氣豫報ヲ製シテ天下ニ知ラシメ、又暴風等ヲ警戒ス。第
 一區ハ南海岸ニシテ最モ多ク黑潮ノ影響ヲ受ケ、雨量亦最

植物分
布

モ多キ地方ナリ、即チ琉球ヨリ九州四國ノ南岸ヲ經テ紀伊
 ノ鼻ニ至ル。第二區ハ瀬戸内海地方ニシテ、最モ少雨ノ地
 方ナリ。第三區ハ西北海岸ニシテ、九州ノ西北諸國及ヒ山
 陰道ナリ。第四區ハ東南岸ニシテ、紀伊ノ鼻ヨリ銚子ノ鼻
 ニ至ル各地及ビ其ノ内地ナリ。第五區ハ大陸風ヲ正面ニ
 受クル地ニシテ、北陸、兩羽及ビ其ノ内地ナリ。第六區ハ親
 潮地方ニシテ、銚子以北ノ海岸及ビ其ノ内地ナリ。第七區
 ハ極北地方ニシテ、北海道及ビ陸奥海岸ナリ。而シテ臺灣
 ハ現ニ測候經營中ナリ。

動植物ノ分布 本邦ニハ寒國アリ、暖國アリ、熱國アリ、隨テ
 動植物亦同ジカラズ。先ツ植物ヲ例スレバ、已ニ各國ノ條
 ニ明カナル如ク、茶、煙草、藍、柑橘類、竹、蘇鐵、甘蔗、樟、鳳梨等ハ暖

國乃至熱國ノ植物ニシテ寒國ニ適セズ。竹ノ如キハ薩隅地方ニ於テ周圍三尺ニ及ブ者アレドモ、北海道ニ於テハ殆ド全ク之ヲ生ゼズ、間葦ノ如キ小ナル者ヲ見ルノミ。又柑橘類ハ東海岸ニ於テ伊豆、駿河ノ産ハ食フベキモ、纔ニ東京ニ至レバ已ニ食フニ堪ヘズ。一般ニ熱國暖國ハ植物ノ成育宜シト雖モ、特ニ寒地ニ適スル者亦アリ、例ヘバ露ハ千島ニ於テ野生ノ者林ヲ成シ、其下ニ雨宿リスベク、秋田ニ於テハ培養ノ功ヲ以テ初メテ椀大ノ莖ヲ成シ、新潟ニ於テハ培養ノ功纔ニ拇ノ大キサニ至リ、東京以南ニ至リテハ小指ノ大サニ過グル者ナシ。西洋野菜殊ニ甘藍ノ如キハ、北海道ノ産、遙カニ内地ノ者ニ優レリ。間又寒暖ヲ問ハザル者アリ、例ヘバ大根ノ如キハ、北ニシテハ渡島ノ龜田(函館近傍)、南

火山地ノ杉

植物帶

ニシテハ薩摩ノ櫻島、中ニシテハ尾張ノ宮重皆非常ノ成育ヲ遂グ。杉ハ南屋久島ヨリ北秋田、青森ニ至ルマデ自生シ、殊ニ火山質ノ地ニハ最モヨク繁茂ス。今地學者ノ分類ヲ簡畧ニ示ストキハ、(一)琉球以南ヲ熱國植物帶トシ、蘇鐵、樟、甘蔗、鳳梨、龍眼等繁茂ス、(二)九州、四國及ビ本州南半ヲ黒松帶トシ、黒松、柑橘、茶、竹等ノ適地ニシテ常綠木多シ、(三)本州北半ヲ赤松帶トシ、赤松、檜、櫻、栗等繁茂シ、落葉木多シ、(四)北海道ヲ楸松帶或ハ樺帶トシ、楸松(樺)ノ一種樺、五葉松等繁殖ス。是等ハ固ヨリ其ノ大概ヲ示ス者ニシテ、劃然タル區域アルニ非ズ、且學者ニヨリテ分類ノ繁簡一ナラズ。又南部ト雖モ、高地ハ寒冷ナルヲ以テ寒地ノ植物ヲ生ズ、例ヘバ富士山ニテハ麓ハ黒松帶ナルモ、中腹ハ赤松或ハ楸松帶ノ植物ヲ生ジ、

動物分
布

頂上ニ於テハ更ニ草木ヲ生ゼザルニ至ル。又古クヨリ開
ケタル地方ニ於テハ固有ノ森林伐リ盡サレ、他帶ノ植物人
工ニ由リテ繁殖スルコト多シ。

動物ニ至リテハ殊ニ判然タル區域ナシト雖モ、大凡暖國
産ノ著シキ者ハ、四國猿ニシテ、寒國産ハ千島ノ臘虎、臘肭獸、
海豹等ナリ。魚類ニハ鮭、鱈、鯡ノ如キハ北方ニノミ産ス。
熊、狼ハ本州北部ノ山岳ニ棲息シ、北海道ニハ罷多シ。大凡
猛獸、毒蛇ハ熱國ニ多キ者ナレド、本邦ニアリテハ琉球ノ飯
倩、七、臺灣ノ豹ニ過ギズ。此クノ如ク、寒暑ハ文明ノ發達ヲ
害スルニ至ラズ、毒蛇猛獸ハ人類ノ生活ヲ危クスルニ至ラ
ズシテ、而モ寒暖各地ノ産物種種ナルハ、實ニ世界屈指ノ樂
土ト謂フベシ。

農産

産物 本邦各地ノ産物ノ著名ナル者ハ已ニ各條下ニ記シ
タレドモ、今又廣ク概言シ、且先ノ言及バザリシ者ヲ補ハン。
本邦産業ノ最モ主要ナル者ヲ農業トシ、農産ノ主要ナル者
ヲ米、麥トス。

米ノ産地ハ筑紫平野、濃尾平野、關東、越後等ノ諸平野ヲ主
要ナル者トス、一國ノ産額最モ大ナルヲ越後トシ、一反ノ收
穫最モ多キヲ大阪府下(平均大凡二石)トシ、質ノ最モ良キヲ
肥後トス。麥ノ産額最モ多キハ關東平野ニシテ、次ハ濃尾
平野ナリ。大豆モ亦關東平野ニ最モ多ク産ス。茶ノ多額
ハ駿遠即チ静岡縣ヲ第一トシ、山城ヲ第二トス、然レドモ玉
露製ハ山城ヲ最モ多額トス。其ノ他河内ノ綿、下野ノ麻、阿
波ノ藍、皆産額ノ第一ナリ。

林業

全國ノ産額ヲ舉グレバ、米ハ大凡四千萬石ニシテ全國一人一石ニ當リ、麥ハ大凡其ノ半ナリ。其ノ他數量ニ關シテハ附録ニ讓リ、今一一之ヲ舉グズ。

林業ノ著シキ者ハ東ニ信濃アリ、西ニ紀伊アリ、其ノ他諸國ノ山岳鬱蒼トシテ、山林ノ面積大凡全國ノ半ニ至ルト云フ。元來山林ハ水源ヲ養ヒ、土砂ノ崩潰ヲ防ギ、魚類ノ群集ヲ招キ、木材ヲ供シ、風致ヲ存スル等ノ必用アリ、殊ニ本邦ハ山岳多クシテ山林トスルノ外、用フベカラザル地多キニモ拘ラズ、木材ニ供スベキ山林割合ニ少ク、土木工事ノ木材ハ外國ヨリ輸入スル者多シ。加之維新以來ハ林制大ニ弛ミテ、山林ヲ濫伐シ、之ガ爲メ諸國ノ水害年年絶エザルニ至レリ。

牧畜

牧畜ハ近來軍馬、食牛、乳牛、製革等ノ需用ニツレテ、年年盛大ニ趣クト雖モ、或ハ需用ノ進歩ニ應ズル能ハザルノ勢アリ。現在ノ頭數ハ、馬ハ薩摩ヲ第一トシ、陸中之ニ次ギ、牛ハ山陽道諸國ニ最モ多シ。

水産

水産ノ多額ナルハ、北海道ノ鱒、昆布、房總ノ鰯ナリ。鯉節ノ産額ハ土佐節ヲ最多トシ、銚子節、薩摩節之ニ次グ。

蠶業

蠶業ハ東山道ニ最モ盛ンニシテ、就中繭、生絲ノ産額共ニ信濃ヲ第一トス。

礦産

礦産ハ佐渡、薩摩ノ黄金、羽後ノ銀、下野、伊豫ノ銅、皆全國第一及ビ第二ナリ。鐵ハ釜石及ビ中國ニ産スト雖モ、方今勃興セル兵器、鐵路等ノ需用ノ什一ナモ望ムコト能ハズ、筑前ノ製鐵所完成ノ日ハ、蓋シ一步ヲ進ムルコトアルベシ。

工業品

工業品ハ精粗ニヨリテ價格ノ差異甚ダシキヲ以テ、數量ト價額トハ必ズシモ比例スル者ニ非ズ。今價額ヲ以テ順序スルトキハ、絹布ハ京都ヲ第一トシ、上野、下野之ニ次グ。數量ハ上野、下野、京都トス。綿布ハ尾張、三河即チ愛知縣下ヲ第一トシ、(鳴海絞等)紀伊(綿ねる等)武藏(二子縞等)阿波(阿波縮)等之ニ次グ。陶磁器ハ美濃、尾張、肥前、山城、加賀、漆器ハ紀伊、能登、青銅器ハ越中、加賀、紙ハ土佐、駿河、美濃、酒類ハ攝津、尾張等、各々其ノ順序ニ隨フ。繪畫、彫刻、蒔繪等ノ美術品ハ兩京ニ最モ多ク、七寶ハ殆ド名古屋ノ專有タリ。

美術品

商業地

是等ノ物品集散ノ中心即チ商業地タルベキ所ハ、無論交通ノ最モ便利ナル地ニシテ、前章ニ記セル海陸諸線路ノ著名ナル市邑是ナリ。又其ノ各地ノ總中心タルベキ地アリ、

輸出品

大阪ハ關西ノ中心、函館ハ北海全道ノ中心、東京ハ全國ノ中心タルガ如キハ其ノ最モ大ナル者ナリ。

輸出入 本邦產物ノ海外ニ輸出スル者ノ中、價額ノ最モ多キ者ハ生絲、茶、羽二重ニシテ、茶ハ多ク、米國ニ輸出シ、生絲、羽二重ハ多ク、米佛ニ輸出セラル。米モ多額輸出品ノ一ナルド輸入米亦多シ。是等ヲ最モ多額ナル者トシ、陶磁器、漆器、美術品等ハ價額稍少キモ、名聲海外ニ嘖嘖タル者ナリ。總ジテ輸出ノ最モ多キハ米國ナリ。

輸入品

輸入品ノ最モ多額ナルハ第一練綿ニシテ、重ニ支那、印度ヨリ來ル。次ハ白砂糖ニシテ、英領香港ヨリ來リ、次ハ鐵類ニシテ、英國ヨリ來ル者多シ。總ジテ輸入ノ最モ多キハ英國ナリ。其ノ他世人ノ耳目ニ觸ルルコト多キ外國產物ハ、

露西亞皮(器具用)、佛蘭西皮(靴用)、獨逸びいる、獨逸ねる、英ねる、米國粉(麥粉)、米國針、瑞西時計、支那緞子、支那縮緬等ナリ。
毎年ノ輸出入ハ各々一億萬圓内外ニシテ、多少輸出ノ超過アルヲ常トセシガ、日清戰役ノ結果トシテ、二十七年以來毎年多少ノ輸入超過ヲ見ル。

第十五章 政治ノ概要

行政

司法

政體 行政部ハ各地ノ便宜ヲ計リ、全國ヲ三府四十三縣ニ分チ、地方廳ヲ設ケ、地方官ヲ配置シテ、衛生、勸業、教育、警察、土木、租稅等各般ノ政ヲ行ハシム。之ヲ監督スル中央政府ハ、内外務、陸海軍、大藏、司法、文部、農商務、遞信ノ諸省アリ、各省ノ大臣聯合シテ内閣ヲ成シ、天皇ヲ輔弼シテ行政ノ責ニ任ズ。各府縣ハ郡ニ分チ、各郡ハ町村ニ分チ、事務多端ナル大市街ハ別ニ市ト稱シテ郡ニ隸セズ。市町村ニハ自治制ヲ布キ、各自市町村長ヲ選ビ、各自財産ヲ所有シ、獨立シテ其ノ團體中ノ事ヲ處理ス。府、縣、郡モ亦漸次自治制ヲ布カレントス。
司法部ハ全國三百ノ區裁判所アリ、府縣道廳ノ所在地及

ビ函館根室ニ地方裁判所アリテ之ヲ分轄シ、東京、大阪等ノ七控訴院又之ヲ分轄シ、中央ニ一ノ大審院アリテ之ヲ總轄セリ。(附録參看) 小事ハ區裁判所ヲ初審トシ、大事ハ地方裁判所ヲ初審トシ、裁判ニ服セザル者ハ各々上級ノ法庭ニ控訴止告スルヲ得。

立法

立法部ハ帝國議會ニシテ、貴族院ト衆議院トノ議員ヲ召集シ、法律、豫算等ヲ審議セシムル所ナリ。議會或ハ政府ヨリ出デタル原案ニシテ議會ニ可決セラレ、政府ニ同意セラレタル者ハ、天皇ノ裁可ヲ經テ初メテ公布執行セラル。通常此ノ立法、行政、司法ノ權ヲ三大權ト稱シ、又統治ノ大權ト稱シ、天皇之ヲ總攬シ給フ。是即チ立憲君主政體ニシテ、最モ完美ノ政體ナリ。

種族

種族 人種ノ血統ハ姑ク措キ、本邦ニ於テ現ニ言語風俗ヲ異ニスル者五アリ、(一)本邦人、(二)あいの、(三)琉球人、(四)臺灣生蕃、(五)同支那移民是ナリ。風ヲ移シ、俗ヲ易フルハ國ノ統一ニ於テ最モ緊要ノ事ナリト雖モ、聖上慈仁ニシテ新附ノ民ノ不便ヲ憐ミ給ヒ、特ニ臺灣總督ニ勅シテ改革ヲ急劇ニセザランコトヲ戒メ給ヘリ。

教法

教法 本邦元神儒佛ノ三教アリ、神道ハ國家ノ恩人、自家ノ祖先ヲ神トシ祭リテ其ノ德ヲ紹述シ、儒道ハ修身ノ道ヲ明カニシテ天下國家ニ及シ、佛道ハ惡ヲ遷シテ善トナシ、怨ヲ轉ジテ慈悲トナシ、自ラ佛ト成ランコトヲ務ムル教ナリ。佛教ハ一般ニ廣マリ、天台、眞言、淨土、禪、眞宗、日蓮宗等ヲ重ナル者トシ、殊ニ眞宗最モ勢力アリテ濃尾、北陸ノ沃土ヲ根據

教育

トセリ。(附録參看) 然レドモ國民トシテ皇祖天神ヲ拜セザル者ナク、亦學校ニアリテ儒教ノ一斑ヲ聽カザル者ナシ、則チ神儒佛ノ三教一般ニ行ハルト云フモ亦不可ナルナシ。耶蘇教ハ徳川時代ニハ國禁ナリシカド、今ハ憲法ニヨリテ奉教ノ自由ヲ與ヘラレタリ。

教育 全國到ル處ノ町村ニ小學校アリテ、國民タルニ必要ナル普通學ヲ授ク。各府縣ニ一個或ハ數個ノ尋常中學校アリテ高等ナル普通學ヲ授ク。全國ニ六個ノ高等學校アリ。則チ兩京、仙臺、金澤、山口、熊本ニシテ、或ハ工科或ハ法科或ハ醫科等ノ專門學ヲ教ヘ、或ハ大學ニ入ルノ豫備ヲナサシム。東京及ビ京都ニ帝國大學アリテ法科、文科、理科、醫科、工科、農科等ノ深遠ナル學理ヲ攻究セシム。或ハ各府縣中、

陸軍

中學校同程度ナル農學校、商業學校、技藝學校等ノ設アル者亦少カラズ。又高等女學校アリテ、女子ニ高等ナル普通學ヲ授クル所アリ。

普通學ノ教員ヲ養成センガ爲メ、各府縣ニ一個或ハ數個ノ師範學校アリテ、小學校教員ヲ養成シ、東京ニ高等師範學校及ビ女子高等師範學校アリテ師範學校、尋常中學校、高等女學校ノ教員ヲ養成ス。

軍備 軍備ヲ嚴ニシテ列國ノ野心ヲ防ギ、國ノ平和ヲ保ツハ國民ノ義務ナリ。本邦陸軍ノ兵制ハ全國ノ壯丁體格ノ檢査ニ合格シタル者、抽籤ヲ以テ兵役ニ服スルコト三年、之ヲ現役ト云フ。現役畢リテ後、四年四箇月間ヲ豫備役ト云ヒ、豫備ノ後五年間ヲ後備役ト云ヒ、戰役又ハ事變アルトキ

ニハ、豫備後備逐次ニ召集セラル。全國ノ軍ヲ近衛師團及
ビ各地十二師團ニ分チ、司令部ヲ要地ニ置キテ各々其ノ管
區ヲ指揮ス、東京以下已ニ各國ノ條ニ云ヘリ。(附録參看) 而
シテ近衛師團及ビ東京以北ノ四師團ハ東部都督部ニ屬シ、
廣島ヨリ西南ノ四師團ハ西部都督ニ屬シ、其ノ間ノ四師團
ハ中部都督ニ屬セリ。

海軍

海國ノ壯丁ハ募ニ應ジテ海軍ニ服役ス。其ノ現役四年、
豫備役三年、後備役五年ナリ。全國ノ海岸海面ヲ五區ニ分
チ、各々軍港アリテ之ヲ管スルコト、已ニ各國ノ條ニ云ヘル
ガ如シ。軍港ニハ鎮守府アリテ海兵團ヲ訓練シ、又所屬ノ
艦隊アリテ管内ヲ警戒ス。但シ舞鶴、室蘭ニハ未ダ鎮守府
ナキヲ以テ、其ノ管内ハ横須賀、吳ノ鎮守府之ヲ分管セリ。(附

ル 37

4 315

外交

錄參看

以上陸軍現役ノ軍人凡ソ九萬人、豫備後備等ヲ合ハセテ
總計二十六萬人、海軍現役一萬四千人、豫備後備ヲ合ハセテ
一萬七千人ナリ。

外交 本邦ト通商條約ヲ締結セル國國ハ露、獨、佛、英、米、蘭、伊、
葡萄牙、西班牙、丁抹、瑞典及ビ那威、瑞西、白耳義、澳地利及ビ匈
牙利、布哇、墨西哥、白露、支那、朝鮮、暹羅、智利ノ二十三个國ナリ。
貿易ニ關スルコトハ已ニ前章產物ノ序デテ以テ舉ゲタリ。

第十六章 沿革ノ概要

神武天皇以前

上古我が國ニハ土蜘蛛ナド云ヘル野蠻住ミ、又蝦夷トテ今ノあいの人種モ本州ニ蔓延シ、互ニ酋長アリテ相争ヒ、五月蠅如荒振國ナリシガ、九州ノ南部ハ早クヨリ吾ガ帝室ノ遠皇祖ノ統治ノ下ニアリテ、稍開化ノ運ニ向カヒ、山陰道ニハ大國主命アリテ國土ヲ經營シ、生業ノ道ヲ教ヘ給ヘリ。斯クテ武甕槌命(鹿島神)經津主命(香取神)皇祖ノ勅ヲ大國主命ニ傳ヘテ其ノ國亦吾ガ帝室ニ屬シキ。

神武天皇一統

神武天皇ニ至リ日向ノ高千穗宮ヨリ出立テ、速吸門ヨリ山陽道ニ上陸シテ其ノ地ヲ經略シ給ヒ、其レヨリ浪速ニ至リ、又川ヲ溯リテ河内ニ入り給ヒシガ、軍利アラズ、更ニ紀州

四道將軍

ニ入り、還リテ大和ヲ平定シ、位ニ橿原宮ニ即キ給ヒキ、是紀元第一年ナリ。

紀元五百年代崇神天皇ハ、四道將軍ヲ發遣シ給ヒテ、皇威漸ク遠國ニ及ベリ。

日本武尊

然レドモ遠民ノ叛服常ナラズ、七百年代景行天皇ハ皇子日本武尊ヲ遣ハシテ、西ハ熊襲ヲ征シ、東ハ蝦夷ヲ討タシメ給ヒキ。皇子東海道ノ蝦夷ヲ逐ヒテ陸奥ニ至リ、又東山道ヲ平定シ給ヒシハ、歴史上著名ノ事實ナリ。次ノ成務天皇ハ初メテ山河ヲ界トシテ國界ヲ正シ、地方官ヲ任ジ給ヒキ。八百年代神功皇后新羅ヲ征シ給ヒテ、三韓即チ朝鮮ハ吾ガ屬國トナリヌ。此ノ頃ヨリ已ニ支那ト交通アリシガ如クナレド、公然國使ヲ遣ハサレシハ一千二百年代推古天皇

三韓 支那交通

ノ朝ナリ。一千三百年代齊明天皇ノ朝ニ新羅反シテ支那兵ヲ導キ、吾ガ國全ク三韓ヲ失ヒヌ。然レドモ此ノ朝ニ阿部比羅夫ハ奥羽ノ蝦夷ヲ逐ヒ、海峽ヲ渡リテ蝦夷島ヲ鎮定セリ。

南都 京都

同ジ百年代ニ元明天皇ハ都ヲ奈良ニ定メ給ヒ、一千四百年代桓武天皇ハ京都ニ遷都シ給ヒキ。安徳天皇ニ至リ、暫時都ヲ兵庫ノ福原ニ遷シ給ヒ、尋デ名高キ源平ノ戦アリ、東北ニテハ石橋山、俱利迦羅峠、西南ニテハ須磨、屋島、壇ノ浦等一時戰場トナレリ。

鎌倉

幾バクモナク頼朝ハ鎌倉ニ幕府ヲ開キテ、政權ヲ預リ奉リキ。鎌倉ハ天險ノ要害トシテ、恃マレシモ、政令ノ中心トナリテヨリハ山ヲ開キ、道ヲ通ジ、今ニ「七切通シ」ヲ殘セリ。

元寇

嘗テ菅公ノ建白ニヨリテ遣唐使廢セラレテヨリ、支那ト國際ノ交通止ミタリシテ、鎌倉ノ世、北條時宗執權ノ時、支那ヨリ無禮ノ書ヲ送來リ、吾郤ケテ之ヲ入レザリシヲ以テ、遂ニ元寇ノ事件トナリ、玄界灘ノ鏖戦ニ流石ノ忽必烈ヲ恐怖セシメキ。

足利幕府

既ニシテ鎌倉幕府倒レ、足利氏代リテ幕府ヲ京都ニ置キ、關東管領ヲ鎌倉ニ置ケリ。三代將軍義滿ノ代ニ復支那ト交通ス。此ノ頃ヨリ我ガ國人ハ漸ク支那ノ邊海ニ冠シ、戰國ノ世ニ至リテハ大ニ威ヲ南洋諸島ニ振ヘリ。葡萄牙人ノ初メテ種子島ニ來リ、我ニ鐵砲ヲ傳ヘシモ亦足利幕府ノ世ナリ。

西洋交通

豊太閤ハ戰國ヲ一統シテ大阪ニ居リ。嚮キニ足利氏ノ

松前内
附 琉球朝
貢

時蝦夷ヲ征服シタリシ松前ノ蠣崎氏内附シテ、大名ニ列セ
ラレ、琉球モ亦島津氏ニヨリテ朝貢シキ。太閤亦朝鮮ヲ諭
シテ支那ニ侵入セントセシモ事調ハズシテ、遂ニ征韓ノ舉
アリ。此ノ頃小笠原貞頼朝鮮ヨリノ歸途ニ小笠原島ヲ發
見セリ。

徳川江
戸幕府
外交

徳川家康豊臣氏ニ代リテ政ヲ執ルニ及ビ、幕府ヲ江戸ニ
置キ、外ハ朝鮮、支那、西洋諸國ト通商セリ。山田長政ガ前印
度ニ威ヲ振ヒシハ此ノ頃ノ事ナリ。三代將軍家光ニ至リ
テ外交ヲ謝絶シ、獨リ支那、和蘭ノ長崎ニ來リテ貿易スルヲ
許セリ。濱田彌兵衛ガ臺灣ニテ武勇ヲ顯シシハ大凡此ノ
頃ナリ。

明治外
交

徳川幕府ノ末世ニ至リ、歐米諸國ニ通商ヲ許シ、明治維新

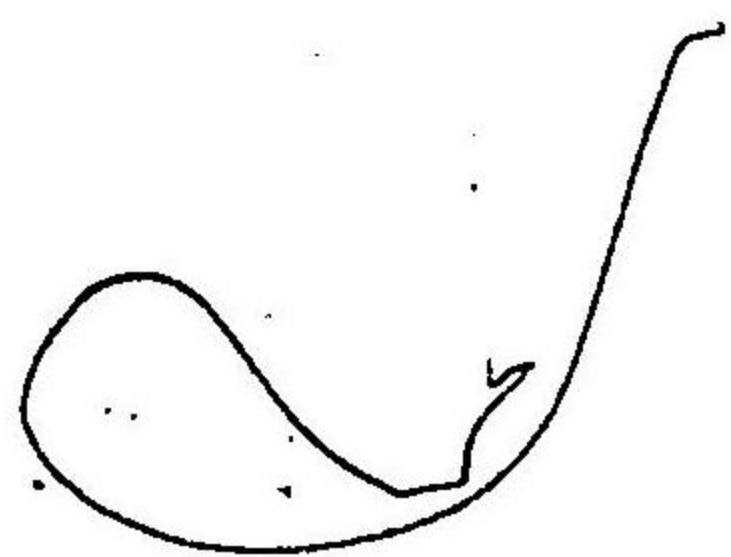
征臺

千島樺
太交換
臺灣版
圖ニ入
ル

ニ至リテ益々外交ヲ修メタリ。明治二年奥羽二國ヲ分チ
テ磐城、岩代、陸前、陸中、陸奥、羽前、羽後、ノ七個國トナシ、又蝦夷
島ヲ改メテ北海道トナシ、更ニ渡島、後志、石狩、天鹽、北見、膽振、
日高、十勝、釧路、根室、千島ノ十一个國ニ分チキ。八年臺灣ノ
生蕃ヲ伐チテ我ガ琉球人ヲ殺シタル罪ヲ問ヒ、東部ノ地ヲ
占領セシガ、支那政府我ガ遭難ノ民ノ遺族撫卹銀ヲ償ヒシ
ニヨリ、其ノ地ヲ還附セリ。又樺太ノ境界ニ付キ、從來露國
人トノ間ニ屢々紛議アリシヲ、此ノ年千島樺太交換ノ條約
ヲ結ビキ。十二年琉球ヲ我ニ專屬セシメテ沖繩縣ヲ置ク。
二十七八年日清戰役ノ結果トシテ、支那ハ遼東半島及ビ臺
灣、澎湖ヲ我ニ割讓セリ。然ルニ露、獨、佛三國同盟シテ我ニ
忠告スル所アリシヲ以テ、我ガ政府胥議シテ遼東半島ヲ還

附セリ。斯クシテ東ハ千島ヨリ西ハ臺灣ニ至ルマデ一千
三百里ノ山河、永ク萬世一系ノ天皇ヲ戴ケリ。

新内國地誌終



明治三十三年三月十日印刷
同年三月十三日發行

内國地誌

定價金六拾錢

著者 新保磐次

印刷者兼 發行者 金港堂書藉株式會社

東京市日本橋區本町三丁目十七番地

右社長

代表者 原亮三郎

東京市下谷區龍泉寺町四百十番地

印刷所

株式會社 秀英舍

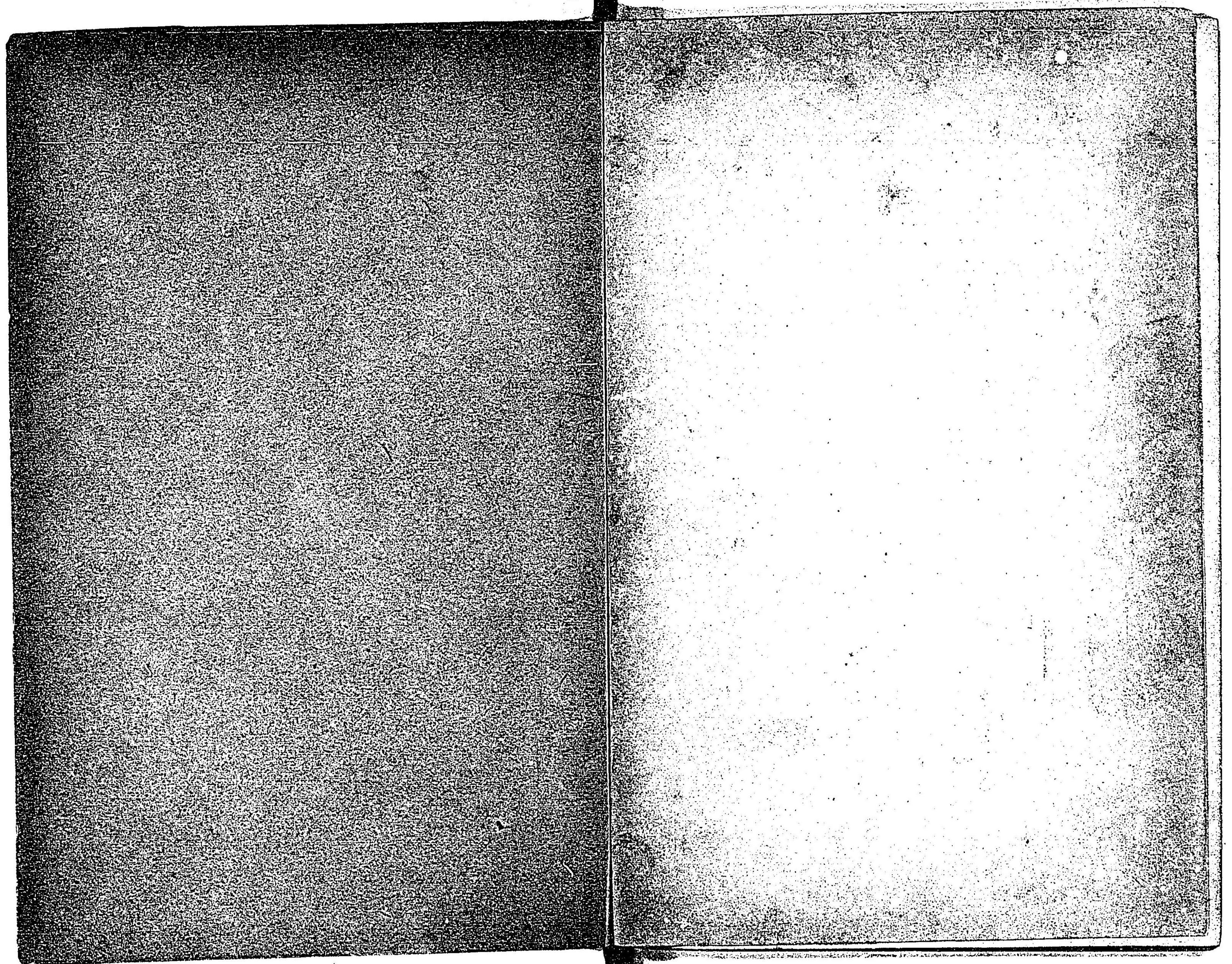
東京市京橋區四越屋町二十六七番地

賣捌所

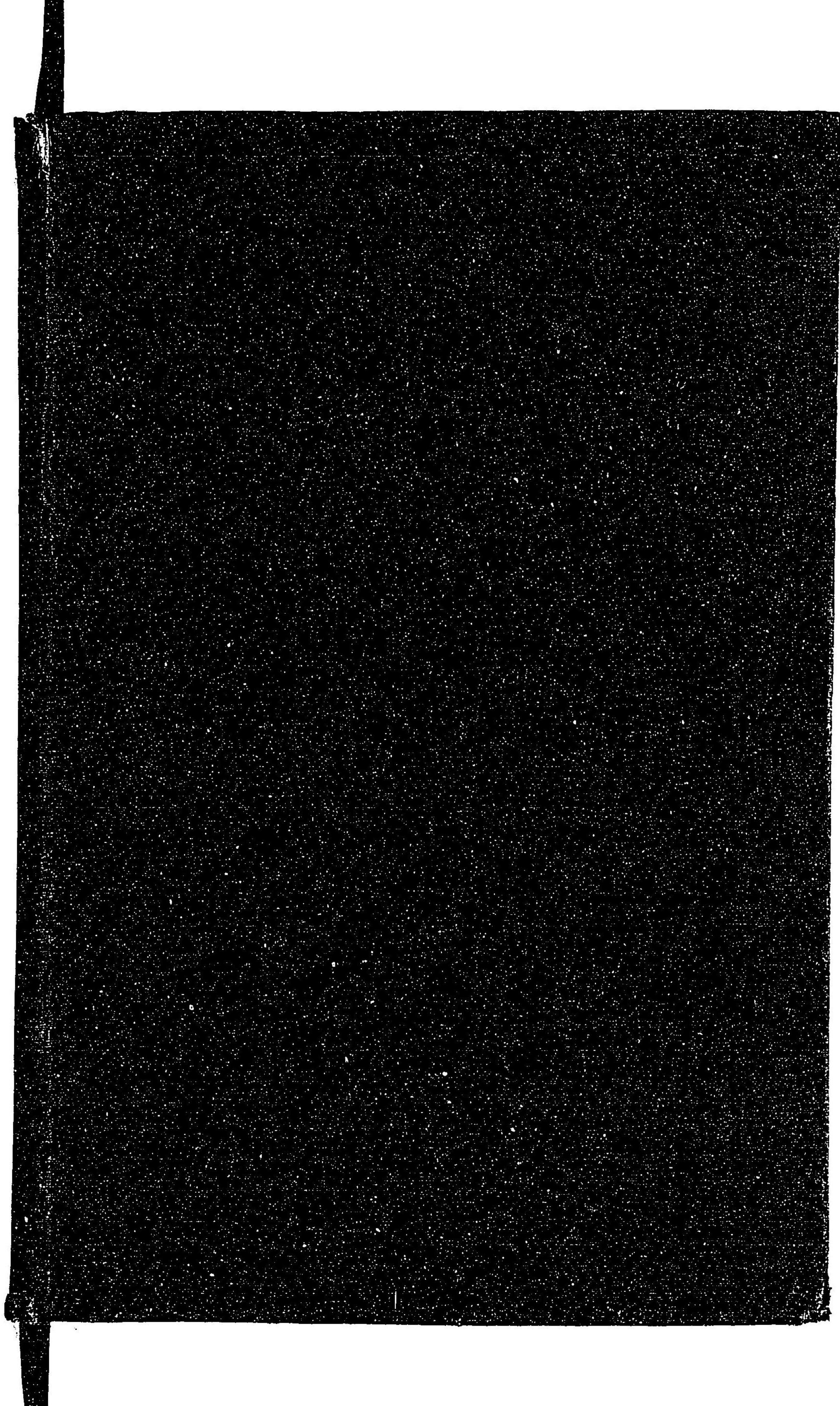
各府縣特約販賣所



版權所有



75
45



022564-001-0

75-45

新体内国地誌

新保 磐次/著

M31

ADB-0259

